

FirstClass8 デザイナー

目次

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| はじめに | 5 |
| 概要 | 5 |
| ■ リソースのカスタマイズ | 5 |
| ■ FirstClass クライアントへの機能の追加 | 5 |
| ■ カスタマイズしたリソースの配布 | 5 |
| ■ フォームを Web ブラウザで表示 | 5 |
| ■ 今バージョンの新機能 | 6 |
| ■ インストール | 6 |
| ■ 起動と終了 | 6 |
| FirstClass デザイナーの利用 | 6 |
| ■ FirstClass デザイナーのインタフェース | 6 |
| ■ FirstClass デザイナーのツールバーの使い方 | 7 |
| ■ FirstClass デザイナーが自動作成するファイル | 7 |
| ■ FirstClass デザイナーの基本設定 | 8 |
| 設定ファイルとリソースの利用 | 9 |
| 設定ファイルの準備 | 9 |
| ■ 設定ファイルを開く | 9 |
| ■ 設定ファイルの新規作成 | 10 |
| ■ 設定ファイルの更新 | 10 |
| 設定ファイルへのリソースのインポート | 12 |
| ■ Windows で利用できるインポート方法 | 12 |
| ■ Macintosh で利用できるインポート方法 | 15 |
| ■ 重複リソースの処理 | 17 |
| ■ 失敗しないためのガイドライン | 18 |
| ■ 画像リソースとアイコンリソースの表示 | 19 |
| 画像の利用 | 19 |
| ■ デスクトップのデフォルト画像の作成 | 19 |
| アイコンの利用 | 20 |
| ■ デフォルトのアイコンの置き換え | 20 |
| ■ 設定ファイルを複数作成した方がよい場合 | 20 |
| サウンドの利用 | 20 |
| ■ アクションへのサウンドの割り当て | 21 |
| ■ ウィンドウへのサウンドの割り当て | 21 |
| ■ 設定ファイルを複数作成した方がよい場合 | 21 |
| その他のリソース | 21 |
| ■ 文字列の追加 | 22 |

| | |
|--|-----------|
| ■ 文字列の編集 | 23 |
| ■ 文字列テーブルの削除 | 23 |
| ■ デフォルトのファイルマッピングの置き換え | 23 |
| リソースの配布 | 24 |
| ■ [FC Resource Registry] へのリソースの追加 | 24 |
| <hr/> | |
| フォームのカスタマイズ | 26 |
| フォームの準備 | 26 |
| ■ デフォルトのフォームについて | 26 |
| ■ 既存のフォームを開く | 26 |
| ■ 既存フォームのコピー | 27 |
| ■ フォームの新規作成 | 27 |
| ■ フォームの保存 | 27 |
| ■ フォームのテスト | 31 |
| ■ ログインフォームとログオフフォームのカスタマイズ | 31 |
| フィールドの利用 | 31 |
| ■ フィールドの追加 | 31 |
| ■ フィールドの選択 | 31 |
| ■ フィールドのサイズ変更 | 32 |
| ■ フィールドの移動 | 32 |
| ■ フィールドのコピー | 33 |
| ■ フィールドの削除 | 34 |
| ■ フィールド ID の確認 | 34 |
| ■ フィールドのタブ順設定 | 34 |
| ■ フィールドに画像を追加 | 35 |
| ■ フィールドにテキストを追加 | 35 |
| フィールド属性の設定 | 36 |
| ■ 一般的なフィールド属性 | 36 |
| ■ [属性] タブ | 37 |
| ■ [サイズ/色] タブ | 40 |
| ■ [内容] タブ | 41 |
| ■ [移動] タブ | 45 |
| ■ [ヘルプ] タブ | 46 |
| フィールド形式 | 46 |
| ■ メッセージフィールドの各フィールド | 48 |
| ■ 画像、アイコン | 51 |
| ■ 直線、四角形、角丸四角形、楕円 | 52 |
| ■ 編集可能テキスト、ガイドテキスト、マーキー | 53 |
| ■ アイコン付きテキスト | 54 |
| ■ 連結 | 54 |
| ■ 数値 | 55 |
| ■ グループボックス | 57 |
| ■ 期間 | 58 |
| ■ チェックボックス | 59 |
| ■ ラジオグループ、ラジオボタン | 61 |

| | |
|--|-----------|
| ■ コマンドボタン..... | 63 |
| ■ URL ボタン | 72 |
| ■ フォームボタン..... | 73 |
| ■ 複製グループ | 74 |
| ■ 複製ボタン | 75 |
| ■ 折りたたみグループ | 76 |
| ■ マルチフィールドセレクト | 77 |
| ■ 選択リスト（入力不可、入力可） | 79 |
| ■ フォームリスト..... | 80 |
| ■ 日付セレクト | 81 |
| ■ フォントセレクト、カラーセレクト | 83 |
| ■ ファイルセレクト | 84 |
| ■ 進行状況バー | 85 |
| ■ 拡張リスト | 85 |
| ■ ファイルビューア | 87 |
| ■ 固定リスト | 87 |
| ■ タブコントロール | 88 |
| ステーションナリの作成 | 90 |
| ■ ステーションナリフォームの作成..... | 90 |
| ■ ステーションナリパッドの作成 | 91 |
| FirstClass への機能の追加 | 91 |
| ■ 機能拡張..... | 92 |
| ■ ツールバーフォーム | 93 |
| Web のためのカスタマイズ | 94 |
| ■ カスタマイズしたデフォルトのフォームを Web ページとして生成 | 94 |
| ■ 作成したフォームを Web ページとして生成 | 94 |
| ■ フォームを「新規作成ドロップダウンリスト」に追加 | 95 |
| トラブルシューティング | 96 |

Copyright 1997, 2004 by Open Text Corp.

SOF3131.3D

Open Text Corp.

905-762-6000 or 1-800-763-8272

Web: www.firstclass.com

Email: support@firstclass.com, sales@firstclass.com

日本の窓口

株式会社エフ・シー・マネジメント

Web: www.fcm.co.jp

Email: support@fcm.co.jp

Notices

You must accept the FirstClass License Agreement before you can use this product. If you do not accept the terms of the License Agreement, do not install the software and return the entire package within 30 days to the place from which you obtained it for a full refund. No refunds will be given for returned products that have missing components.

Information in this document is subject to change without notice. Certain features and products described in this document may not be currently available in all geographic regions. Distribution or reproduction of this document in whole or in part must be in accordance with the terms of the License Agreement.

All rights reserved. FirstClass, Centrinity, Livelink, Open Text and other trademarks and the associated logos used herein are trademarks of Open Text Corporation and/or its subsidiary used under license. All other trademarks are property of their respective owners.

This edition applies to Version 8.0 of FirstClass and to all subsequent releases and modifications until otherwise indicated.

はじめに

概要

このドキュメントでは、FirstClass デザイナーを使って FirstClass をカスタマイズする方法について説明します。

FirstClass ではメッセージフォームなどのフォームと画像、アイコン、サウンドがリソースとして使われています。FirstClass にはあらかじめデフォルトのリソースが備わっています。

FirstClass デザイナーを使うと、お使いの環境に合うようにリソースをカスタマイズすることができます。FirstClass のデフォルトのフォームに対応するカスタマイズリソースを作成すると、カスタマイズリソースがデフォルトのリソースに優先されます。

■ リソースのカスタマイズ

FirstClass ではユーザが FirstClass サーバに接続する仕組みとして設定ファイルが使われています。この設定ファイルの中にはリソースが保存されており、FirstClass デザイナーの作業ではこの設定ファイルを利用します。

リソースをカスタマイズするには、FirstClass デザイナーで次のような作業を行います。

- ・ 設定ファイル内にある既存のフォームをカスタマイズする
- ・ 設定ファイルにフォームや他のリソースを追加する
- ・ 設定ファイルから必要のないリソースを削除する

■ FirstClass クライアントへの機能の追加

次のようなフォームを作成して、FirstClass クライアントに機能を追加することができます。

- ・ 外部データベースとやり取りを行う
- ・ さまざまな画像フォーマットを表示する
- ・ FirstClass クライアントのツールバーに独自に作成したボタンを追加する

■ カスタマイズしたリソースの配布

リソースをカスタマイズしたら、ユーザが利用できるようにする必要があります。カスタマイズしたリソースを配布するには、FirstClass サーバに格納するか、またはカスタマイズした設定ファイルをユーザに配布します。

■ フォームを Web ブラウザで表示

FirstClass インターネットサービスの機能により、カスタマイズしたフォームを、FirstClass の HTML テンプレートを利用して Web ブラウザで表示させることができます。

■ 今バージョンの新機能

- ・ 特定のフィールド ID、重複しているフィールド ID の検索。
- ・ あるフィールドで選択した値によって、他のフィールドの動作を制御できるフィールドコントロール機能。
- ・ 表示させたいフィールドをユーザが選択できるマルチフィールドセレクタ。
- ・ ヘルプの内容をステータスバーではなくツールチップに表示。
- ・ 「画像リスト」と「アイコンリスト」がメニューバーの [フォーム] から [ファイル] に移動。

■ インストール

Windows 版のインストール

FC8004DesignerJP.exe をダブルクリックし、指示にしたがってインストールを行ってください。

Mac OS X 版のインストール

FC8004DesignerJP.dmg をデスクトップにコピーしてからダブルクリックし、ディスクイメージをマウントしてください。

マウントされたイメージ内の **Install FirstClass Designer** をダブルクリックし、指示にしたがってインストールを行ってください。

■ 起動と終了

起動

FirstClass デザイナーがインストールされたフォルダ内の **Designer.exe (Windows)** または **FirstClass Designer (Macintosh)** というアイコンをダブルクリックしてください。



終了

メニューバーから、[ファイル] > [終了] を選択すると、FirstClass デザイナーが終了します。

FirstClass デザイナーの利用

■ FirstClass デザイナーのインタフェース

FirstClass デザイナーの操作系は、ほとんどの画像系ソフトウェアに一般的な約束事を使用しています。Adobe Photoshop®などのアプリケーションを利用した経験をお持ちの方であれば、比較的容易に使いこなすことができると思われます。

FirstClass デザイナーでは、多くの場合、同じ作業を複数の方法で行うことができます。例え

ば、フォーム上の選択されたフィールドを削除するには次のような方法があります。

- ・ メニューバーの [編集] > [クリア] を選択する。
- ・ キーボードの [Delete] キーを押す
- ・ フィールド上で右クリック (Windows) または control+クリック (Macintosh) し、[編集] > [クリア] を選択する。

FirstClass デザイナーで表示されているウィンドウを、その中のフォームの大きさに合わせるには、メニューバーから [ウィンドウ] > [ウィンドウの拡大] (Windows) または [表示] > [ウィンドウの拡大] (Macintosh) を選択して下さい。

■ FirstClass デザイナーのツールバーの使い方

ツールバー上のボタンによって、一般的な FirstClass デザイナーでの作業の大部分をボタン 1 つで行うことができます。これらのボタンで行うことのできる作業は、メニューバーから選択することもできます。FirstClass クライアントと同様、マウスカーソルをボタン上に置くとそのボタンの説明が表示されます。Windows では、FirstClass クライアントのツールバー同様、マウスでツールバーを FirstClass デザイナーのウィンドウの上・下・左・右に移動することができます。

ツールバー上に表示するボタンを取捨選択したり、並び順を変えたりすることもできます。メニューバーの [表示] > [ツールバーのカスタマイズ] を選んでください。

ツールバーの表示/非表示の切り替え

ツールバーを表示するには [表示] > [ツールバーを表示] を選択してください。非表示にするには [表示] > [ツールバーを隠す] を選択してください。

ツールバーのボタンにテキストを表示 (Windows のみ)

FirstClass クライアント同様、ツールバーにアイコンだけを表示させるか、アイコンとテキストを表示させるかの選択ができます。

アイコンとテキストを表示させるには [表示] > [アイコンとテキストを表示] を選択してください。テキストを隠すには [表示] > [アイコンのみを表示] を選択してください。

ステータスバーの使い方

FirstClass デザイナーのステータスバーには、選択したメニューの概要や、選択しているフィールドの補足的な情報等が表示されます。

ステータスバーを表示するには、[表示] > [ステータスバーの表示] を選択してください。

非表示にするには [表示] > [ステータスバーを隠す] を選択してください。

■ FirstClass デザイナーが自動作成するファイル

FirstClass デザイナーをインストール後に初めて起動すると、「DESIGNER.fcd」というファイルが作成されます。このファイルには以下の情報が保存されています。

- ・ FirstClass デザイナーの基本設定

- ・ カスタマイズしたツールバー
- ・ 最近開いたファイル
- ・ FirstClass デザイナーを最後に終了する時に開いていたウィンドウ

基本設定で「自動保存」と「バックアップの作成」を有効にした場合もファイルが生成されません。

■ FirstClass デザイナーの基本設定

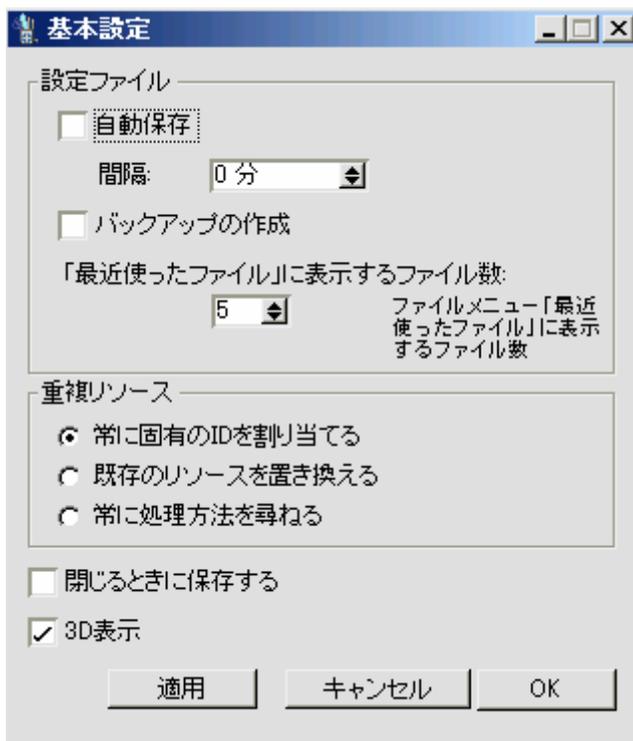
FirstClass デザイナーの動作方法をカスタマイズすることができます。例えば、重複リソースが発見された場合の処理や自動保存を行うかどうかなどを設定することができます。

基本設定を変更するには、

1. メニューバーから、「編集」 > 「基本設定」を選んでください。

注意

Mac OS X では、FirstClass Designer > 「環境設定」を選んでください。



2. 必要に応じて、設定を変更してください。

基本設定フォームを開いたまま設定を変更するには、「適用」ボタンをクリックしてください。

設定ファイルとリソースの利用

設定ファイルの準備

ここでは、設定ファイルの概要を説明します。

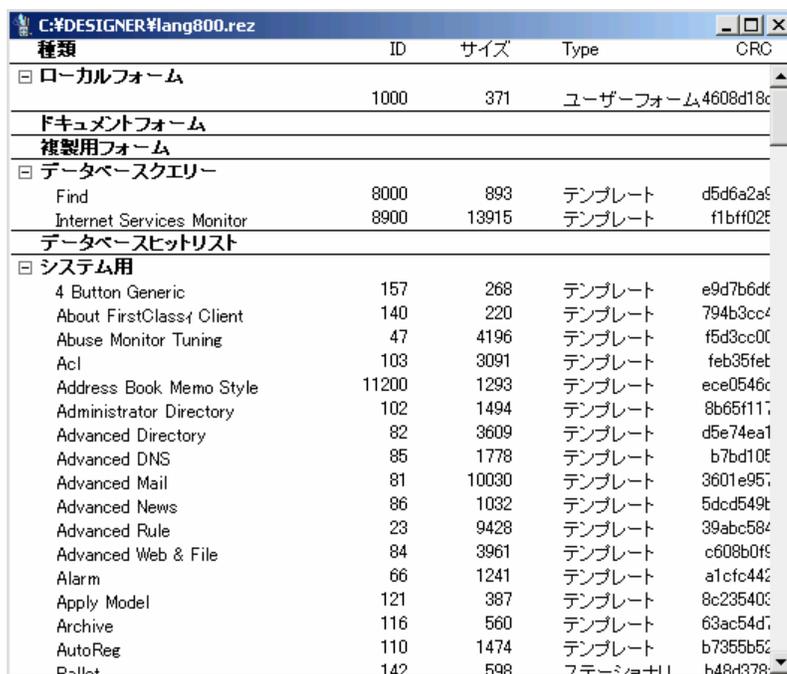
■ 設定ファイルを開く

1. メニューバーから [ファイル] > [開く] を選択し、編集する設定ファイルを選んでください。

最近使った設定ファイルは [ファイル] > [最近使ったファイル] で選ぶことができます。ここに表示されるファイルの数を変更するには、基本設定フォームを開き、『最近使ったファイル』に表示するファイル数」の数値を更新してください。

また、Windows では設定ファイルを FirstClass デザイナーのウィンドウ内に直接ドラッグして開くこともできます。

2. 設定ファイルに含まれているリソースの一覧が表示されます。



| 種類 | ID | サイズ | Type | CRC |
|---------------------------|-------|-------|----------|----------|
| ローカルフォーム | 1000 | 371 | ユーザーフォーム | 4608d18c |
| ドキュメントフォーム | | | | |
| 複製用フォーム | | | | |
| データベースクエリー | | | | |
| Find | 8000 | 893 | テンプレート | d5d6a2a9 |
| Internet Services Monitor | 8900 | 13915 | テンプレート | f1bfff02 |
| データベースヒットリスト | | | | |
| システム用 | | | | |
| 4 Button Generic | 157 | 268 | テンプレート | e9d7b6df |
| About FirstClass Client | 140 | 220 | テンプレート | 794b3cc4 |
| Abuse Monitor Tuning | 47 | 4196 | テンプレート | f5d3cc0c |
| AcI | 103 | 3091 | テンプレート | feb35fet |
| Address Book Memo Style | 11200 | 1293 | テンプレート | ece0546c |
| Administrator Directory | 102 | 1494 | テンプレート | 8b65f117 |
| Advanced Directory | 82 | 3609 | テンプレート | d5e74ea1 |
| Advanced DNS | 85 | 1778 | テンプレート | b7bd10e |
| Advanced Mail | 81 | 10030 | テンプレート | 3601e957 |
| Advanced News | 86 | 1032 | テンプレート | 5dcd549e |
| Advanced Rule | 23 | 9428 | テンプレート | 39abc584 |
| Advanced Web & File | 84 | 3961 | テンプレート | c608b0fe |
| Alarm | 66 | 1241 | テンプレート | a1cfc44c |
| Apply Model | 121 | 387 | テンプレート | 8c23540c |
| Archive | 116 | 560 | テンプレート | 63ac54d7 |
| AutoReg | 110 | 1474 | テンプレート | b7355b52 |
| Button | 142 | 598 | テンプレート | h48d378 |

種類

リソース名です。(ローカルフォーム、ドキュメントフォームなど太字で書かれているものはリソースの種類です)

ID

リソース ID です。

サイズ

リソースのサイズです。(単位：キロバイト)

Type

リソースの Type です。

CRC

リソースが更新されたかどうかを表します。他の人と共同でリソースの更新作業をしている場合に、そのファイルが最後に更新されたものかどうか確認する際に役立ちます。

☐ (Windows) または ▾ (Macintosh) をクリックすることで、その項目内の各リソースの表示・非表示を選択できます。

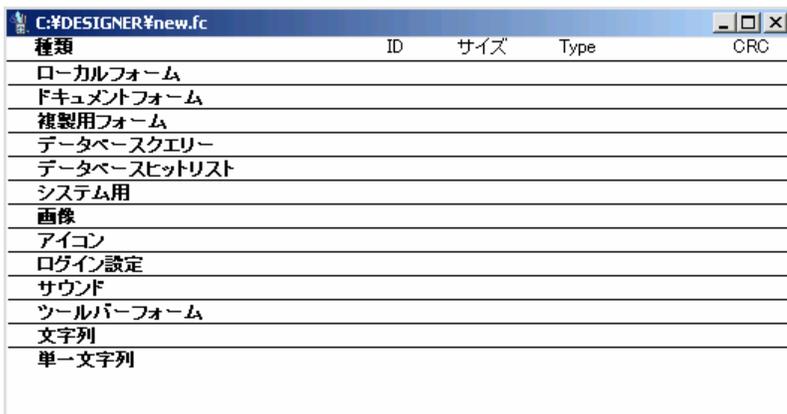
■ 設定ファイルの新規作成

設定ファイルを作成する最も簡単な方法は既存の設定ファイルをコピーして編集することですが、一から設定ファイルを作ることも可能です。

1. メニューバーから [ファイル] > [新規作成] を選択してください。
2. 設定ファイルを保存したいフォルダを選択し、設定ファイルの名前を入力して [保存] をクリックしてください。

このファイルを Windows で使用する場合は、ファイル名に拡張子 **.fc** を付けてください。Macintosh のみで使用する場合には必要ありません。

この設定ファイル用の新しいリソース一覧が表示されます。



| 種類 | ID | サイズ | Type | CRC |
|--------------|----|-----|------|-----|
| ローカルフォーム | | | | |
| ドキュメントフォーム | | | | |
| 複製用フォーム | | | | |
| データベースクエリー | | | | |
| データベースヒットリスト | | | | |
| システム用 | | | | |
| 画像 | | | | |
| アイコン | | | | |
| ログイン設定 | | | | |
| サウンド | | | | |
| ツールバーフォーム | | | | |
| 文字列 | | | | |
| 単一文字列 | | | | |

■ 設定ファイルの更新

設定ファイルには、画像、アイコン、サウンドの各ファイルを追加することができます。また、カスタマイズしたフォームも追加できます。

カスタマイズ作業が終了したら、メニューバーから [ファイル] > [保存] を選択してください。設定ファイルの変更内容が保存されます。

設定ファイルへの変更を取り消すには、[ファイル] > [ファイルの復元] を選択してください。

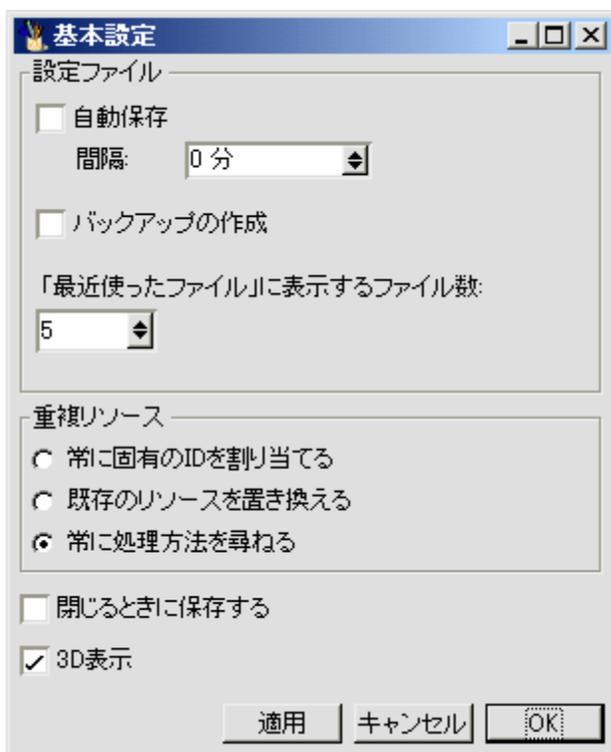
設定ファイルの内容が最後に保存された時点まで戻されます。

注意

この機能を有効にするためには、[編集] > [基本設定] で基本設定フォームを開き、「バックアップの作成」を有効にしてください。

設定ファイルの自動保存

FirstClass デザイナーの基本設定で、自動保存の設定をすることができます。



自動保存

編集時の設定ファイルを定期的に保存します。この項目にチェックを入れ、「最近使ったファイル」に表示するファイル数に自動保存を何分ごとに行うか指定して、[OK] をクリックしてください。

自動保存では" ~ " で始まる一時ファイルが作成されます。コンピュータが作業中にダウンした場合、このファイル名を変更して設定ファイルと置き換えると、最後に自動保存を行ったときの設定まで戻ることができます。

この設定は、設定ファイルを開く前に行ってください。

バックアップの作成

この項目にチェックを入れると、設定ファイルを開く度にそのファイルの複製を作成します。複製ファイルの拡張子は.bak です。

これにより、ある時点で行ったすべての変更を破棄して、作業を開始した時点の状態に戻ることができます。

注意

ハードディスクの容量が不足している場合、これらの設定を有効にしたときに必要となるディスク容量を考慮してください。上記の設定のうちの1つを有効にすると、編集する設定ファイルの2倍のディスク容量が必要になります。2つとも有効にすると3倍のディスク容量が必要になります。

設定ファイルへのリソースのインポート

外部の画像やアイコン、サウンドファイルをカスタマイズに利用するためには、これらのリソースを設定ファイルへインポートするか、直接サーバに保存する必要があります。

■ Windows で利用できるインポート方法

Windows の場合、以下の方法が可能です。

- ・ サウンドリソースをファイルから直接インポート
- ・ アイコンをファイルから直接インポート
- ・ 画像、アイコンリソースをクリップボードにコピーして設定ファイルに貼り付け
- ・ 画像、アイコン、サウンドリソースを設定ファイル間でコピー

サウンドリソースをファイルからインポート

Windows では、サウンドをインポートする唯一の方法です。サウンドファイルは WAV 形式でなければなりません。

サウンドリソースをインポートするには、

1. メニューバーから [ファイル] > [サウンドのインポート] を選択します。
2. インポートするサウンドを含むファイルを選択します。

FirstClass デザイナーは、インポートしたサウンドファイルを設定ファイルのリソース一覧に追加します。このリソースには固有のリソース **ID** が割り当てられ、リソース名は元の WAV ファイルの名前になります。

FirstClass デザイナーが設定した内容を変更したい場合は、サウンドリソースを選択して、[ファイル] > [プロパティ] を選んで、次のフィールドを更新してください。



リソース名

このサウンドに設定する名前です。

通常は、任意のリソース名を設定できます。ただし、ウィンドウにサウンドを設定する場合は、ウィンドウ名をリソース名にしなければなりません。詳細は、「サウンドの利用」の項の「ウィンドウへのサウンドの割り当て」を参照してください。

リソース ID

28000 から 29000 の間で、他のリソースと重複しない ID を割り当ててください。

アクションにサウンドを設定する場合は、該当するリソース ID と同じ ID にします。詳細は、「サウンドの利用」の項の「アクションへのサウンドの割り当て」を参照してください。

アイコンをファイルから直接インポート

インポートするアイコンファイルは ICO 形式でなければなりません。

アイコンをインポートするには、そのアイコンを含む ICO ファイルを設定ファイルのリソース一覧にマウスでドラッグしてください。

注意

Windows で透過色アイコンをインポートして、その透過色を維持する唯一の方法です。

クリップボードを利用してリソースをインポート

クリップボードを利用して、BMP 形式の画像とアイコンをコピーして、設定ファイルに貼り付けることができます。

クリップボードを利用してリソースをインポートするには、

1. インポートしたいリソースを、そのリソースを選んでコピーするために使用する外部アプリケーションで開いてください。
2. そのリソースの一部または全部を選択して、クリップボードにコピーしてください。
3. そのリソースをインポートしたい設定ファイルを、FirstClass デザイナーで開いてください。
4. メニューバーから [編集] > [貼り付け] を選択してください。

画像リソースとしてインポートするか、アイコンリソースとしてインポートするかを尋ね

られる場合があります。「BMP ファイルの変換」ダイアログボックスで、該当するリソースの種類を選択してください。

FirstClass デザイナーは、設定ファイルのリソース一覧で、該当する種類にそのリソースを追加します。このリソースには固有のリソース ID が割り当てられ、リソース名は空白になります。

5. リソースを選択して、[ファイル] > [プロパティ] を選んでください。
6. 次のフィールドを更新してください。



リソース名

このリソースに設定する名前です。

リソース ID

FirstClass が割り当てたリソース ID を、デフォルトのリソースに割り当てられた ID と重複しない ID に変更する場合は、28000 から 29000 の間で ID を割り当ててください。

デフォルトのシステム用アイコンを置き換える場合は、該当するリソース ID と同じ ID にします。詳細は、「アイコンの利用」の項の「デフォルトのアイコンの置き換え」を参照してください。

設定ファイル間でリソースをコピー

リソースを設定ファイル間でコピーするには、

1. コピーしたいリソースを含んでいる設定ファイル（コピー元設定ファイル）を開いてください。
2. リソースをコピーしたい設定ファイル（コピー先設定ファイル）を開いてください。
3. コピー元設定ファイルのリソース一覧から、コピーしたいリソースを選択してください。複数のリソースを選択するには、Ctrl キーを押しながら各リソースをクリックします。
4. 選択したリソースを、Ctrl キーを押しながらコピー先の設定ファイルまでドラッグしてください。

Ctrl キーを押さずにリソースをドラッグすると、コピーではなく移動になってしまいます。

両方の設定ファイルを並べて表示するスペースがない場合は、ドラッグ操作ではなく通常の [コピー] [貼り付け] 操作を行うことができます。

■ Macintosh で利用できるインポート方法

Macintosh の場合、以下の方法が可能です。

- ・ 画像、アイコン、サウンドリソースをファイルから直接インポート
- ・ 画像、アイコンリソースをクリップボードにコピーして設定ファイルに貼り付け
- ・ 画像、アイコン、サウンドリソースを設定ファイル間でコピー

リソースをファイルからインポート

Macintosh では、リソースがリソースフォークに収められているファイル (ResEdit で開くことのできるファイル) をインポートすることができます。画像は PICT 形式、アイコンは CICON 形式 (カラーアイコン)、サウンド用は SND 形式でなければなりません。

ファイルからリソースをインポートするには、

1. メニューバーから [ファイル] > [リソースのインポート] を選択します。
2. インポートしたいリソースを含むファイルを選択してください。

FirstClass デザイナーは、インポートしたリソースを設定ファイルのリソース一覧に追加します。

3. インポートしたリソースを選択して、[ファイル] > [情報を見る] を選んでください。
4. 次のフィールドを更新してください。



リソース名

このリソースに設定する名前です。

通常は、任意のリソース名を設定できます。ただし、ウィンドウにサウンドを設定する場合は、ウィンドウ名をリソース名にしなければなりません。詳細は、「サウンドの利用」の項の「ウィンドウへのサウンドの割り当て」を参照してください。

リソース ID

FirstClass が割り当てたリソース ID を、デフォルトのリソースに割り当てられた ID と重複しない ID に変更する場合は、28000 から 29000 の間で ID を割り当ててください。

デフォルトのシステム用アイコンを置き換えるか、アクションにサウンドを設定する場合は、該当するリソース ID と同じ ID にします。詳細は、「アイコンの利用」の項の「デフォルトのアイコンの置き換え」か、「サウンドの利用」の項の「アクションへのサウンドの

割り当て」を参照してください。

クリップボードを利用してリソースをインポート

クリップボードを利用して、画像、アイコン、サウンドをコピーして、設定ファイルに貼り付けることができます。画像は PICT 形式、アイコンは CICON 形式 (カラーアイコン)、サウンド用は SND 形式でなければなりません。

注意

高解像度の PICT ファイルは、設定ファイルに直接インポートすると、Windows 環境で表示させたときに空白になってしまいます。どの OS でも表示できるように高解像度の PICT ファイルをインポートするには、まず FirstClass のメッセージかドキュメントに貼り付け、そこで再度クリップボードにコピーしてください。Mac OS X を使用している場合や、画像が Mac OS X でのみ表示可能な場合にも、この方法でインポートしてください。

Windows を使用して画像を作成したり、画像を設定ファイルに貼り付けたりした場合、その画像は自動的に 256 色の PICT 形式に変換されます。

クリップボードを利用してリソースをインポートするには、

1. インポートしたいリソースを、そのリソースを選んでコピーするために使用する外部アプリケーションで開いてください。
2. そのリソースの一部または全部を選択して、クリップボードにコピーしてください。
3. そのリソースをインポートしたい設定ファイルを、FirstClass デザイナーで開いてください。
4. メニューバーから [編集] > [貼り付け] を選択してください。

FirstClass デザイナーは、設定ファイルのリソース一覧で、該当する種類にそのリソースを追加します。このリソースには固有のリソース ID が割り当てられ、リソース名は空白になります。

5. リソースを選択して、[ファイル] > [情報を見る] を選んでください。
6. 次のフィールドを更新してください。



リソース名

このリソースに設定する名前です。

通常は、任意のリソース名を設定できます。ただし、ウィンドウにサウンドを設定する場合は、ウィンドウ名をリソース名にしなければなりません。詳細は、「サウンドの利用」の項の「ウィンドウへのサウンドの割り当て」を参照してください

リソース ID

FirstClass が割り当てたリソース ID を、デフォルトのリソースに割り当てられた ID と重複しない ID に変更する場合は、28000 から 29000 の間で ID を割り当ててください。

デフォルトのシステム用アイコンを置き換えるか、アクションにサウンドを設定する場合は、該当するリソース ID と同じ ID にします。詳細は、「アイコンの利用」の項の「デフォルトのアイコンの置き換え」か、「サウンドの利用」の項の「アクションへのサウンドの割り当て」を参照してください。

設定ファイル間でリソースをコピー

リソースを設定ファイル間でコピーするには、

1. コピーしたいリソースを含んでいる設定ファイル（コピー元設定ファイル）を開いてください。
2. リソースをコピーしたい設定ファイル（コピー先設定ファイル）を開いてください。
3. コピー元設定ファイルのリソース一覧から、コピーしたいリソースを選択してください。複数のリソースを選択するには、**Command** キーを押しながら各リソースをクリックします。
4. 選択したリソースを、**Option** キーを押しながらコピー先の設定ファイルまでドラッグしてください。

Option キーを押さないでリソースをドラッグすると、コピーではなくて移動になってしまいます。

両方の設定ファイルを並べて表示するスペースがない場合は、ドラッグ操作ではなく通常の [コピー] [貼り付け] 操作を行うことができます。

■ 重複リソースの処理

ファイルからリソースをインポートするか (Macintosh のみ)、複数の設定ファイル間でリソースをコピーしようとする時、そのリソースと同じリソース ID、同じリソース Type のリソースが、コピー先の設定ファイルにすでに存在している場合があります。この場合、FirstClass デザイナーは、基本設定の「重複リソースの処理」の設定内容に基づいて、次のいずれかの処理を行います。

- ・ インポートするリソースに、固有の ID を割り当てる。
- ・ インポートするリソースに、既存のリソースを置き換える。
- ・ リソースをインポートする処理方法を尋ねる

インポートするリソースの処理方法を尋ねられた場合は、次のダイアログが表示されます。



固有 ID

重複しない固有の ID を自動的に設定して、インポートするリソースを追加します。重複するリソースがある度にその取り扱いを尋ねられます。

置換

重複しているリソースをインポートするリソースに置き換えます。重複するリソースがある度にその取り扱いを尋ねられます。

キャンセル

インポートするすべてのリソースについて、ID が重複しているリソースのインポートを行いません。

全て固有 ID

重複しない固有の ID を割り当てて、インポートするすべてのリソースを追加します。

すべて置換

インポートするすべてのリソースについて、インポートするリソースに置き換えます。

スキップ

リソースのインポートを行いません。重複するリソースがある度にその取り扱いを尋ねられます。

■ 失敗しないためのガイドライン

画像

- 異なるプラットフォームで同じように表示させるには、8 ビット（256 色）で解像度を 72dpi としてください。

- ・ 背景用の画像には暗い色を使わないでください。アイコンや未読フラッグが見えにくくなる場合があります。
- ・ 最も解像度が低く、画面が小さいユーザに合わせるようにしてください。

アイコン

- ・ ほとんどのアイコンは 32×32 ピクセルの大きさですが、他のサイズや形を利用することもできます。

注意

他のサイズにする場合は 16 ピクセルの倍数にしてください。そうしないと、アイコンの表示が乱れてしまいます。

- ・ 透過色のアイコンは、Windows では ICO ファイルからインポートしてください。Macintosh では ResEdit で元ファイルを作成してください。

サウンド

- ・ 異なるプラットフォームで同じように再生させるには、8ビット非圧縮のモノラルで、サンプリングレートを 22kHz 以下としてください

■ 画像リソースとアイコンリソースの表示

設定ファイル内で利用できる画像リソースを一覧で表示させることができます。FirstClass デザイナーのメニューバーから [ファイル] > [画像リスト] を選択してください。

その設定ファイル内で利用できるアイコンリソースを一覧で表示させることができます。FirstClass デザイナーのメニューバーから [ファイル] > [アイコンリスト] を選択してください。

画像の利用

カスタマイズした画像を設定ファイルにインポートするかサーバに保存すると、画像リソースとしてフォーム上のフィールドで利用することができます。

また、ユーザは、その画像をデスクトップや MailBox などの背景画像として、FirstClass 実行中に選択することができます。背景画像として選択された画像は、実際の大きさでウィンドウの左上に表示されます。表示位置はユーザが変更できます。

■ デスクトップのデフォルト画像の作成

ユーザのデスクトップに表示されるデフォルトの背景画像を作成することができます。手順は、新規ユーザと登録済みユーザで異なります。

- ・ 新規ユーザの場合は、管理者として FirstClass にログインし、All Users グループのモデルデスクトップを変更してください。
- ・ 既存ユーザの場合は、バッチコマンドを利用するか、各ユーザのデスクトップを開いて、デスクトップの背景画像を変更してください。

アイコンの利用

FirstClass の各オブジェクトにはアイコンが割り当てられています。また、大部分のリソースにもアイコンが使われています。例えば、FirstClass ログインフォームには、ログイン状況を表すアイコンが表示されます。

ここでは、アイコンをオブジェクトに適用する方法と、デフォルトのシステム用アイコンをカスタマイズしたアイコンに置き換える方法を説明します。

注意

設定ファイル内にあるアイコンではなく、サーバに保存されているアイコンを選んだ場合、FirstClass デザイナーでは表示されません。したがって、このアイコンを使用するフィールドでは、ポップアップメニューからアイコンを選ぶのではなく、アイコンのリソース ID を入力する必要があります。

カスタマイズしたアイコンをインターネットサービスで利用したい場合は、インターネットサービスが使用する icons.fc 設定ファイルにそのアイコンをコピーしなければなりません。この場合、既存の icons.fc ファイルを置き換えるのではなく更新するようにしてください。置き換えてしまうと、FirstClass のデフォルトのアイコンが削除されてしまいます。

■ デフォルトのアイコンの置き換え

MailBox や未読フラッグなど、FirstClass デフォルトのアイコンを置き換えることは推奨しませんが、置き換える場合は、該当するアイコンのリソース ID を新しいアイコンのリソース ID に割り当ててください。

注意

Palm Computing のオーガナイザーで同期をとるユーザがいる場合は、mail list アイコン（リソース ID23013）を置き換えないでください。

デフォルトのアイコンとそのリソース ID を確認するには、FirstClass デザイナーをインストールしたフォルダ内にある設定ファイルのサンプル「Example.fc」を開いてください。

■ 設定ファイルを複数作成した方がよい場合

使用するコンピュータのディスプレイが異なっているユーザに独自の設定ファイルを配布する場合、各ディスプレイに適した表示になるように複数の設定ファイルを作成することが考えられます。その場合、画像を異なるディスプレイに合うよう最適化するための「失敗しないためのガイドライン」の内容が、アイコンにも適用されます。

したがって、配布した設定ファイルを使用しないユーザがいることを考慮し、新しいアイコンがなくても利用できるようにしておいてください。

サウンドの利用

FirstClass では、アクションとインドウに対して再生されるサウンドを設定することができます。FirstClass にはデフォルトのサウンドが設定されていますが、それだけでなく、設定ファイルでサウンドをカスタマイズすることができます。

■ アクションへのサウンドの割り当て

FirstClass は、新規メッセージの受信など、いくつかのアクションに対してデフォルトでサウンドが設定されています。このアクションのリソース ID を新しいサウンドに割り当てて、サウンドをカスタマイズすることができます。

デフォルトのサウンドのリソース ID は、設定ファイル例「Example.fc」を開いてご確認ください。

注意

デフォルトではログオフのサウンドは用意されていませんが、リソース ID を 137 にすると設定できます。

■ ウィンドウへのサウンドの割り当て

ユーザが特定のウィンドウを開くとサウンドが再生されるように設定することができます。このためには、ウィンドウ名と一致するリソース名を割り当ててください。サウンドをウィンドウに割り当てる場合、リソース ID は、28000 から 29000 の間であれば、何を選んでもかまいません。この範囲であれば、デフォルトのサウンドリソースの ID と重複しないからです。

例えば、ユーザがデスクトップを開いたときにサウンドを再生するには、サウンドリソース名を「デスクトップ」とします。ユーザが「ニュース」という会議室を開いたときにサウンドを再生させるには、サウンドリソース名を「ニュース」とします。

また、送信するメッセージの件名と同じリソース名のサウンドを用意して、ユーザがメッセージを開いたときにそのサウンドが再生されるようにすることもできます。この場合、このサウンドリソースがユーザのコンピュータにあらかじめ保存されていなければなりません (例えば、Images フォルダの設定ファイル内)。

■ 設定ファイルを複数作成した方がよい場合

サウンドは多くのディスク容量を必要とします。したがって、ファイルサイズの大きい設定ファイルを使用したくないユーザのために、サウンドが含まれていない設定ファイルをもう 1 つ作成しておくとういでしょう。

その他のリソース

設定ファイルのリソース一覧には、まだ説明していない種類のリソースがあります。

- ・ 単一文字列
- ・ 文字列
- ・ ログイン設定

ログイン設定に含まれるリソースは 1 つです。このリソースは、[フォーム] > [新規フォーム] > [ログイン設定] を選択して、テキストファイルとして編集することができます。しかし、ログイン設定を編集する場合は、FirstClass デザイナーではなく FirstClass クライアントを使用することを推奨します。

したがって、FirstClass デザイナーで編集できる残りのリソースは、単一文字列と文字列にな

ります。これらのリソースは、データベース機能拡張でこれらのリソースを使用することができる場合にだけ適用されます。

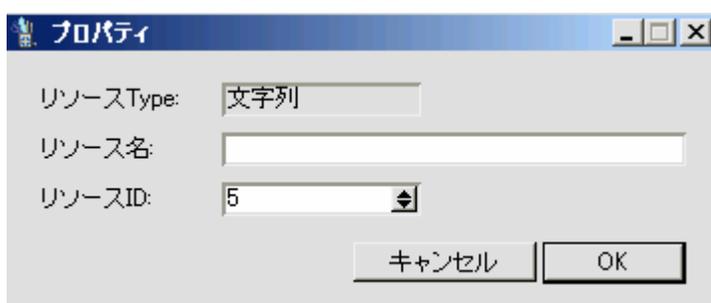
■ 文字列の追加

メニューやエラーメッセージのテキストに利用される文字列は、文字列リソースと単一文字列リソースに格納されています。文字列リソースには、複数の文字列を格納することができる文字列テーブルが含まれており、それぞれのテーブルはインデックス **No.** で識別されています。単一文字列リソースには、1つの文字列を独立したリソースとして保持します。

文字列のリソース ID とインデックス **No.**は、クライアントの文字列値と一致させなければなりません。

文字列を追加する方法

1. 設定ファイルを開き、メニューバーから [フォーム] > [新規フォーム] > [文字列] または [単一文字列] を選択してください。
2. 文字列テーブルにテキストを入力してください（半角で最大 255 文字）。
3. テキストの入力が終わったらフォームを閉じて保存してください。「プロパティ」のフォームが開きますので、以下の設定を行ってください。



The screenshot shows a dialog box titled "プロパティ" (Properties). It contains three input fields: "リソースType:" with the value "文字列", "リソース名:" which is empty, and "リソースID:" with the value "5". At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "OK".

リソース名

リソース名を入力してください。

リソース ID

リソース ID を入力してください。

1つの文字列リソースには、最大 255 個の文字列を追加することができます。

既存の文字列リソースに文字列を追加する方法

1. 文字列リソースをダブルクリックして開いてください。
2. メニューバーから [フィールド] > [文字列テーブルの追加] を選択してください。
3. 文字列を追加してください。

既存の文字列リソースに文字列を挿入する方法

1. 文字列リソースをダブルクリックして開いてください。

2. 新しい文字列を挿入したい場所のすぐ上にある文字列テーブルのインデックス **No.**を、マウスで選択してください。
3. メニューバーから [フィールド] > [文字列テーブルの追加] を選んで下さい。
4. 文字列を追加してください。

■ 文字列の編集

文字列リソースまたは単一文字列を開き、編集したい文字列/文字列テーブルをダブルクリックしてください。

■ 文字列テーブルの削除

文字列リソースを開き、削除したい文字列テーブルの左側にあるインデックス **No.**上で右クリック (**Windows**) または **control**+クリック (**Macintosh**) して [クリア] を選択するか、キーボードの [Delete] キーを押してください。

■ デフォルトのファイルマッピングの置き換え

Windows では、ファイルの拡張子に基づいてファイルの種類を識別します。一方、**Macintosh** ではファイル内に記述された **type** と **creator** (そのファイルを作ったアプリケーション) の情報に基づいてファイルを識別します。**FirstClass** では、**Windows** のファイルの拡張子と **Macintosh** の **type/creator** 情報をマッピングすることで、同じファイルをどちらの **OS** 上でもダウンロードして閲覧することができます。

Macintosh のファイルが **Windows** 機にダウンロードされると、**Windows** の **FirstClass** クライアントが **Macintosh** の **type/creator** 情報に基づいてファイルの拡張子を追加します。**Windows** のファイルが **Macintosh** 機にダウンロードされると、**Macintosh** の **FirstClass** クライアントが **Windows** のファイル拡張子に基づいて **type/creator** 情報を追加します。

拡張子や **type/creator** 情報をマッピングするために、**FirstClass** クライアントでは内部に保存されている文字列テーブルを使用します。設定ファイルや **lang***.rez** ファイル内に置き換え用の文字列テーブル (リソース **ID : 10**) を作成することで、デフォルトのマッピングを置き換えることができます。クライアントと同時に配布される設定ファイル内の文字列リソースには、定義済みのマッピングがすべて含まれるようにしてください。**FirstClass** デザイナーの「**Example.fc**」ファイル内にも、これらのマッピングについての情報が提供されています。

文字列フォーマットは次のようになります。

```
xxx=ccccttt
```

xxx は **Windows** ファイルの拡張子です。

cccc は **Macintosh** の **creator** タグです。

tttt は **Macintosh** の **type** タグです。

また、以下のような複数の文字列を含むことができます。

- ・ 同一の拡張子を持つ文字列 (複数の **Macintosh** 用 **type** 情報を同一の **Windows** 拡張子にマッピングする場合)

- ・ 同一の type/creator 情報を持つ文字列（複数の Windows 拡張子を同一の Macintosh 用 type/creator 情報にマッピングする場合）

リソースの配布

カスタマイズ作業が終了したリソースをユーザが利用できるようにするには、2つの方法があります。

- ・ サーバにリソースを保存して、このサーバに接続するユーザすべてがそのリソースを利用できるようにします。

リソースは、[FC Resource Registry] に保存することができます。

- ・ リソースを含んだ設定ファイルを、ユーザにメールで配布するか、共有の会議室に保存して、ユーザが利用できるようにします。

注意

カスタマイズしたサウンドリソースを配布する場合は、設定ファイルを使用してください。データベース機能拡張を利用する場合を除いて、サーバから直接サウンドファイルにアクセスすることはできません。

ヒント

ユーザに常に最新のリソースを使ってもらうようにするには、その会議室やカレンダーの [ルール] フォルダを開き、その中にリソースファイルを保存することをお奨めします。FirstClass は、ルールフォルダ内のリソースファイルのバージョンを常に監視し、ユーザが使用しているリソースがフォルダ内のリソースより古い場合は、ユーザのリソースを自動的に更新します。これにより、[キャッシュのクリア] をして新しいリソースをダウンロードするという作業をユーザに行わせずに済むようになります。

■ [FC Resource Registry] へのリソースの追加

カスタマイズしたリソースを [FC Resource Registry] に追加するには、

1. カスタマイズしたい rez ファイルを、[FC Resource Registry] からダウンロードしてください。
2. FirstClass デザイナーを起動してください。
3. ダウンロードしたファイル内のリソースを更新します。

警告

既存のリソースを削除するのは、そのリソースと同じリソース ID で新しいリソースを作成する場合だけにしてください。既存のリソースをただ削除してしまうと、FirstClass が正常に動作しなくなる場合があります。

4. 更新したファイルを [FC Resource Registry] にアップロードしてください。
5. アップロードしたファイルを」の [プロパティ] (Windows) または [情報を見る] (Macintosh) を表示させて、保護にチェックを入れます。
6. 以前に作成したファイルの保護を解除して、そのファイルを削除してください。

詳細情報

リソースを配布する詳細な方法については、**FirstClass** の管理者用ヘルプを参照してください。

フォームのカスタマイズ

フォームの準備

この章では、フォームの作成、保存、確認方法について説明します。FirstClass デザイナーを利用すると、フォームをカスタマイズして FirstClass のデフォルトのフォームに追加したり、デフォルトのフォームと置き換えたりすることができます。

カスタマイズしたフォームを FirstClass インターネットサービスで利用する場合は、そのフォームの HTML テンプレートを作成し、管理者デスクトップの `[.Templates]` フォルダに保存しなければなりません。詳細は「Web のためのカスタマイズ」をご覧ください。

FirstClass デザイナーでフォームを編集時に、メニューバーから `[表示] > [3D 表示]` を選択して 3D 表示をする/しないの切り替えができます。メニューバーの `[3D 表示]` にチェックが入っている場合は 3D 表示が有効に、チェックがない場合には無効になっています。

■ デフォルトのフォームについて

FirstClass では、すべてのユーザが利用できるフォームのセットがデフォルトで用意されています。これらのフォームのコピーが FirstClass デザイナーのインストール時に作られる設定ファイルのサンプル「`Example.fc`」に含まれており、カスタマイズ作業の元としてご利用いただくことができます。

それぞれのフォームには重複しない固有のリソース ID が割り当てられています。FirstClass は、例えば受信者があるメッセージを見るためのメッセージフォームを、そのメッセージを作成した送信者のフォームと確実に同じにするためにこの ID を利用します。デフォルトのフォームのリソース ID はすべて、「`Example.fc`」ファイルを開いて確認することができます。

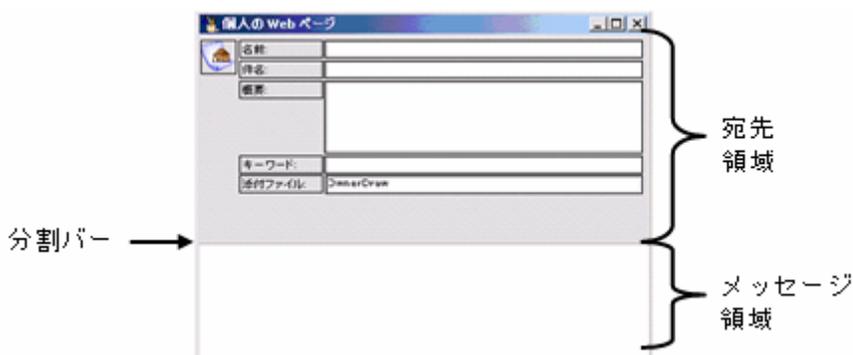
■ 既存のフォームを開く

編集したいフォームを開くには、

1. 編集するフォームを含む設定ファイルを FirstClass デザイナーで開いてください。
2. リソース内のフォームをダブルクリックして開いてください。
3. フォームを編集してください。

分割バーの移動

フォームは、分割バーによって宛先領域とメッセージ領域に分けられています。分割バーは、FirstClass クライアントと同じように、上下にドラッグして移動することができます。



また、すべてが宛先領域のフォーム（ユーザにメッセージ領域への入力をさせたくない場合）やすべてがメッセージ領域のフォーム（フィールドを配置する意味のある情報がない、あるいはデフォルトでは宛先領域を隠したい場合）を作成することもできます。

宛先領域のみを表示させるには、メニューバーから [フォーム] > [分割バー] を選択して分割バーを消してください。再度 [フォーム] > [分割バー] を選択すると、分割バーを再表示させることができます。

メッセージ領域のみを表示させるには、分割バーを完全に上までドラッグしてください。

■ 既存フォームのコピー

新しいフォームを作成する最も簡単な方法は、配置したいフィールドを含んでいる既存フォームをコピーすることです。外部ファイルの場合と同様、ある設定ファイルの既存フォームを他の設定ファイルにコピーすることができます。

■ フォームの新規作成

フォームを新規作成するには、

1. フォームを作成したい設定ファイルを開いて、リソース一覧を表示させてください。
2. メニューバーから [フォーム] > [新規フォーム] を選択し、作成したいフォームを選択します。

フォームの種類については、「フォーム属性」の [種類] フィールドに関する情報を参照してください。

■ フォームの保存

作業中のフォームを失わないよう、保存はひんばんに行ってください。次のような方法で保存することができます。

- ・ 編集中のフォームを保存し、その後も編集作業を続けるには、メニューバーから [ファイル] > [保存] を選択してください。
- ・ 開いているすべてのフォームを保存し、その後も編集を続けるには、メニューバーから [ファイル] > [すべて保存] を選択してください。
- ・ 編集中のフォームを保存し、編集作業を終了するには、そのフォームのウィンドウを閉じてください。保存するかどうか確認するダイアログが表示されますので、[保存] をクリッ

クしてください。

フォームのウィンドウを閉じたときに自動的に保存されるよう設定することもできます。メニューバーの [編集] > [基本設定] で閉じるときに保存するにチェックを入れてください。ただし、重要なデフォルトのフォームなど、特定のフォームの変更を破棄するオプションが無効になりますのでご注意ください。

フォーム属性の設定

新規作成したフォームを閉じるとフォーム属性の設定ウィンドウが開きますので、設定を行ってください。

注意

既存のフォームでフォーム属性の設定ウィンドウを開くには、リソース一覧でリソースを選択して、[ファイル] > [プロパティ] (Windows) または [情報を見る] (Macintosh) を選択してください。

The screenshot shows a dialog box titled "Message プロパティ" (Message Properties). It is divided into two main sections: "フォームの情報" (Form Information) and "フォームの位置" (Form Position).
In the "フォームの情報" section, the following settings are visible:
- Type: ユーザフォーム (User Form)
- 名前: Message
- タイトルバー: メッセージ (Message)
- 種類: システム用 (System Use)
- ID: 141 (with a "固有ID" checkbox)
- スタイル: 標準 (Standard)
- メニューバー: 含む (Include)
- 文字セット: Macintosh Japanese (Shift-JIS)
- An "アイコン:" field with a small icon is also present.
In the "フォームの位置" section, the following settings are visible:
- 上 (Top): 0
- 左 (Left): 0
- 下 (Bottom): 378
- 右 (Right): 555
- 高さ (Height): 378
- 幅 (Width): 555
At the bottom of the dialog are "キャンセル" (Cancel) and "OK" buttons.

Type

次の中から1つを選択してください。

- ・ ユーザフォーム

FirstClass クライアントの [メッセージ] > [特別な新規メッセージ] 内に表示されます。

- ・ フォームテンプレート

他の3つ以外のフォームで、**FirstClass** クライアントのどのメニューにも表示されません。通常は、データベース拡張機能のために利用されます。

- ・ フォームステーションナリ
ステーションナリ、またはデータベース拡張機能のための主フォームとなります。このフォームは **FirstClass** クライアントのメニューバーには表示されません。
- ・ ツールバー
FirstClass クライアントの [ツールバーのカスタマイズ] に使用されるフォームです。

名前

設定ファイルのリソース一覧に表示される名前です。

タイトルバー

フォーム最上部のタイトルバーに表示される名前を入力します。

種類

フォームが属するカテゴリです。カテゴリごとに機能、および割り当て可能なリソース ID の範囲が異なります。

- ・ ローカルフォーム
自サーバでのみ使用されるフォームです。1 つのサイトでのみ使用され、他のサイトへ複製しないフォームは、これを選択してください。このフォームは、**FirstClass** クライアントのメニューバーで、[メッセージ] > [特別な新規メッセージ] 内に表示されます。(有効なリソース ID : 1000-1999)
- ・ ドキュメントフォーム
メッセージとして送ることができないフォームです。このフォームは、**FirstClass** クライアントのメニューバーで [新規作成] > [特別な新規ドキュメント] 内に表示されます。(有効なリソース ID : 2000-2999)
- ・ 複製用フォーム
自サーバでのみ使用されるフォームです。他のサイトへ複製することができます。(有効なリソース ID : 6000-6999)
- ・ データベースクエリー
データベース機能拡張や **FirstClass RAD** で、問い合わせの入力に使用されるフォームです。(有効なリソース ID : 8000-8999)
- ・ データベースヒットリスト
データベースへの問い合わせに結果を返すためのフォームです。(有効なリソース ID : 10000-10999)
- ・ システム用
システム専用です。選択しないでください。

- ・ ツールバー

FirstClass クライアントの「ツールバーのカスタマイズ」に使用されるフォームです。

ID

リソース ID の番号です。[固有 ID] をクリックすると、固有のリソース ID が自動的に割り当てられます。独自のリソース ID を割り当てる場合は、種類 で選択したカテゴリーの有効なリソース ID の範囲にご注意ください。

このフォームをデフォルトのフォームの1つと置き換えたい場合には、そのデフォルトのフォームのリソース ID を入力します。デフォルトのフォームのリソース ID は、設定ファイル例「Example.fc」を開いてご確認ください。

アイコン

このフォームに設定されるアイコンです。クリックするとアイコン画像の一覧が表示され、変更または追加することができます。削除するには右クリック (Windows) または control+クリック (Macintosh) で [クリア] を選択してください。

スタイル

フォームの表示方法を設定します。

- ・ 標準

通常はこれを選択してください。

- ・ サイズ固定

ユーザがサイズを変更できません。

- ・ フローティング

MDI モード (メインのウィンドウの中に複数のウィンドウを開いて表示するモード) で FirstClass を利用している場合に、フォームが独立したウィンドウで表示されます。

- ・ スプラッシュ

スプラッシュスクリーンのようにフォームが表示されます。

メニューバー

- ・ 含む

フォームに FirstClass クライアントのメニューバーが表示されます。

- ・ 含まない

フォームに FirstClass クライアントのメニューバーが表示されません。

文字セット

フォーム上のテキストのための文字セットです。日本語環境で使用する場合は、[Windows Japanese (Shift-JIS)] を選択してください。

フォームの位置

フォームの上側、下側、左側、右側の位置、およびフォームの高さと幅を、ピクセル単位で設定します。

■ フォームのテスト

フォームがユーザにどのように見えるかを確認することができます。メニューバーから [フォーム] > [プレビュー] を選択してください。フォームの編集時に表示されるフィールド境界線なしに、フォームが表示されます。フォームをプレビューしている間は、フィールドの中にデータを入力したり、ボタンをクリックしたり、選択リストを表示させることが可能です。再び [フォーム] > [プレビュー] を選択すると、編集画面に戻ります。

そのフォームの編集権限を持たないユーザからフォームがどのように見えるかを確認するためには、[フォーム] > [プロテクトモード] を選択してください。プロテクトモードを終了するには、再び [フォーム] > [プロテクトモード] を選択します。

■ ログインフォームとログオフフォームのカスタマイズ

FirstClass のログインフォームとログオフフォームは、カスタマイズすることができます。これらのフォームのコピーが、他のデフォルトのフォームと同じく **Example.fc** 設定ファイルに保存されていますので、このコピーをカスタマイズして使用できます。カスタマイズしたフォームのリソース ID は、既存のフォームと同じ ID にしてください。

注意

アイコンと名前は変更できません。変更してもクライアントでは表示されません。

フィールドの利用

フォームが作成できたら、そのフォームに対してフィールドを追加し、編集、移動、サイズ変更を行うことができます。ここでは、フィールドに関する一般的な情報を説明します。特定の形式のフィールドを追加する方法等につきましては、「フィールド形式」の項をご覧ください。

■ フィールドの追加

フォームをフィールドに追加するには、

1. フォームを開いてください。
2. メニューバーの [フィールド] から追加したいフィールドの形式を選択してください。
3. フィールドを配置したい場所でフォームをクリックしてください。

フォームをクリックするだけで、標準の形と大きさとでフィールドが描かれます。ただし、形と大きさは後で変更できます。また、クリックではなくドラッグすると、ドラッグした大きさとでフィールドが追加されます。

■ フィールドの選択

フィールドを編集するには、まずクリックでフィールドを選択してください。

複数のフィールドを選択するには、次のいずれかの方法で行ってください。

- 1 つめのフィールドを選択し、**Ctrl (Windows)** または **Option (Macintosh)** を押しながら他のフィールドをクリックする。
- マウ斯卡ーソルをドラッグして、複数のフィールドを四角で囲む。
四角の中に完全に囲まれたフィールドだけが選択されます。また、タブコントロールまたはラジオグループの中にあるフィールドを四角で囲んで選択するには、**Shift** キーを押しながらドラッグしてください。
- フィールド属性の設定ウィンドウで [次のフィールド] ボタンをクリックして、同じフォーム上の次のフィールドを選択する。
- メニューバーから [編集] > [すべて選択] を選んで、フォーム上のすべてのフィールドを選択する。

選択されたフィールドはサイズハンドルが表示されます。



■ フィールドのサイズ変更

以下の方法で、選択されたフィールドのサイズを変更できます。

- サイズハンドルをマウスでドラッグする。
- **Shift** キーを矢印キーを使用する。
フィールドの右辺を右または左に移動するには、**Shift** キーを押しながら **↑** キーまたは **↓** キーを押します。フィールドの下辺を上または下に移動するには、**Shift** キーを押しながら **→** キーまたは **←** キーを押します。
- メニューバーの [アレンジ] > [サイズ] を利用する。
フィールドの縦と横の長さをパーセントで指定するには、[倍率の選択] を選択します。
フィールドのサイズをグリッドに合わせるには、[グリッドに合わせる] を選択します。
複数のフィールドを最も高いフィールド、低いフィールド、広いフィールド、または狭いフィールドに合わせるには、[高さを最大にする] [高さを最小にする] [幅を最大にする] または [幅を最小にする] を選択します。
アイコンや画像のあるフィールドを実際の大きさにするには、[実際の大きさに合わせる] を選択します。
- フィールド属性でサイズを指定する。

■ フィールドの移動

- マウスでドラッグする。
- 該当する矢印キーを押して、1 ピクセル移動させる。
- [フィールド属性] で位置を指定する。

- ・ フィールドを整列する。
- ・ フィールドの重ね順を変更する。

また、フィールドをフォーム間で移動することができます。

グリッドの利用

グリッドを利用すると、フィールドのサイズ変更、移動、整列の操作に便利です。グリッドは編集のみ表示され、完成したフォーム上には表示されません。

グリッドを表示するには、フィールドが1つも選択されていない状態で、メニューバーの [フォーム] > [グリッドの表示] を選択してください。

オブジェクトをグリッドに吸着させるには、フィールドのサイズ変更、移動、整列の際に、自動的にグリッドに吸着するように設定できます。メニューバーから [フォーム] > [グリッドに吸着] を選択してください。

デフォルトでは、グリッドのドットは縦・横とも 8 ピクセル間隔で設定されていますが、メニューバーから [フォーム] > [グリッドの設定] を選択して、数値を変更できます

フィールドの整列

メニューバーの [アレンジ] > [整列] で、選択状態のフィールドを整列させることができます。以下の方法があります。

- ・フィールドをグリッドに合わせる。
- ・複数のフィールドを、最も左、右、上、または下にあるフィールドに合わせる。
- ・複数のフィールドを水平方向または垂直方向に一定の間隔で配置する。

フィールドの重ね順の変更

フィールドの作成順にしたがって、フォーム上でフィールドが表示される順序が決まります。これにより、複数のフィールドが重なり合っている場合、最後に作成されたフィールドが最前面に表示されることになります。

フィールドの重ね順は変更することができます。フィールドを選択して、メニューバーの [アレンジ] > [順序] から次の項目のいずれかを選んでください。

[前面へ移動] 選択したフィールドを1つ前面に移動します。

[背面へ移動] 選択したフィールドを1つ背面に移動します。

[最前面へ移動] 選択したフィールドを最も前面に移動します。

[最背面へ移動] 選択したフィールドを最も背面に移動します。

■ フィールドのコピー

同じフォーム上、またはフォーム間でフィールドをコピーすることができます。

同じフォーム上でコピー

同じフォーム上でフィールドのコピーを作成するには、コピー元のフィールドを選択して、メニューバーで [編集] > [複製] を選んでください。

異なるフォーム間でコピー

フォーム間でフィールドをコピーするには、

1. フィールドをコピーしたいフォーム（コピー先フォーム）を含む設定ファイルを開いてください。また、コピーするフィールドを含む設定ファイルを開いてください。
2. 両方のフォームを開いてください。
3. コピーしたいフィールドを選択してください。
4. そのフィールドをコピー先フォームにドラッグしてください。
コピーではなく移動する場合は、**Shift** キーを押しながらドラッグしてください。

■ フィールドの削除

削除するフィールドを選択して、メニューバーから [編集] > [クリア] を選択するか、[Delete] キーを押してください。

■ フィールド ID の確認

フォーム上のすべてのフィールド ID を確認するには、メニューバーから [フォーム] > [フィールド ID を表示] を選択してください。再度 [フォーム] > [フィールド ID を表示] を選択すると、フィールド ID は表示されなくなります。

特定のフィールド ID を検索するには、メニューバーから [フォーム] > [フィールドの検索] を選択して、検索したいフィールドの ID を入力してください。その ID のフィールドがハイライト表示されます。

重複しているフィールド ID があるかを検索するには、メニューバーから [フォーム] > [重複 ID を表示] を選択します。同じ ID をもつ複数のフィールドがあれば、ハイライト表示されます。

■ フィールドのタブ順設定

タブ順とは、ユーザがキーボードの [Tab] キーを押してフィールドを移動するときの順番です。初期状態では、フィールドがフォームに追加された順番に設定されています。編集可能なフィールドだけにタブ順は設定されます。

このタブ順は変更することができます。メニューバーの [アレンジ] > [タブ順の設定] から次の項目のいずれかを選んでください。

- ・ [左上から右下へ]

すべてのフィールドのタブ順を、フォームの左上にあるフィールドから右下にあるフィールドに順番に設定します。

- ・ [手動]

タブ順をフィールドごとに設定します。

フィールドごとのタブ順設定

メニューバーの [アレンジ] > [タブ順の設定] > [手動] を選ぶと、現在のタブ順設定が、各フィールドの左下に数字で表示されます。タブ順を変更したら、再度メニューバーから [手動] を選んで、タブ順の表示を隠してください。

注意

タブ順番号が0のフィールドは順番に含まれず、ユーザは [Tab] キーで移動できません。

フィールドごとにタブ順を変更するには、

1. 設定したいフィールドに表示されているタブ順番号をクリックして、ショートカットメニューを表示させます。
2. 新しいタブ順を選択してください。

[タブ順を最初に] を選択すると、そのフィールドのタブ順が1番目になります。番号を選択すると、そのフィールドのタブ順が該当する番号と同じになります。[タブ順を最後に] を選択すると、そのフィールドのタブ順が最後になります。[その他] を開くとダイアログボックスが表示され、ショートカットメニューにはないタブ順を入力することができます。入力する番号は、フォーム上のすべてのフィールドに割り振り可能なタブ順の範囲内であればなりません。

他のフィールドのタブ順は、行った変更におうじて振り直されます。

フィールドのタブ順削除

フィールドのタブ順を削除するには、

1. そのフィールドのタブ順のショートカットメニューを表示させます。
2. [タブ順から削除] を選択してください。

これにより、タブ順が0に設定されます。

タブ順の確認

タブ順を確認するには、

- ・ メニューバーから [フォーム] > [プレビュー] を選択してください。
- ・ Tab キーを押して、フィールド間を移動してください。

■ フィールドに画像を追加

フィールドには画像を格納できるものがあります。そのようなフィールドにカスタマイズした画像やアイコンを追加するためには、そのリソースをあらかじめ設定ファイルにインポートするか、サーバにリソースとして保存しておかなければなりません。

■ フィールドにテキストを追加

フィールドラベルやタブ名、リストの選択肢などにテキストを入力するには、いくつかの方法

があります。

フィールドをダブルクリックしてテキストを入力する。

メニューバーの [フォーム] > [入力済フォーム] を選択し、フィールドをクリックしてテキストを入力する (テキスト入力状態から抜け出すには、再度 [フォーム] > [入力済フォーム] を選択)。

メニューバーの [フィールド] > [フィールド属性] を選択し、[内容] タブをクリックして適切な入力欄にテキストを入力する。

フィールド属性の設定

選択したフィールドの属性を表示するには、メニューバーから [フィールド] > [フィールド属性] を選択して、フィールド属性フォームを表示させます。基本的なフィールド属性は、フィールド上にマウスマウスカーソルを置くと **FirstClass** デザイナーのステータスバーに表示されます。

フィールド属性フォームに入力したら、**Tab** キーを押すと入力したテキストが有効になります。

フィールド属性フォームで入力したテキストを選択して、切り取り、コピー、貼り付けなどの操作を行うことができます。

フィールド属性フォームを開いたまま **FirstClass** デザイナーを終了すると、次に起動したときにそのフォームが開かれます。

■ 全般的なフィールド属性

フィールド ID

通常、1つのフォーム上で各フィールドには固有のフィールド ID が割り当てられます。[固有 ID] をクリックすると、固有の ID を自動的に割り当てます。ただし、メッセージフィールドは種類によりフィールド ID が決まっています。

- 1 メッセージアイコン
- 2 メッセージ状況
- 3 日付
- 4 差出人 (ガイド)
- 5 差出人名

- 6 件名 (ガイド)
- 7 件名
- 8 宛先 (ガイド)
- 9 宛先名
- 10 コピー (ガイド)
- 11 コピー名
- 12 添付ファイル (ガイド)
- 13 添付ファイル名
- 14 消印
- 15-28 内部フィールドで使用
- 29 BCC (ガイド)
- 30 BCC 名

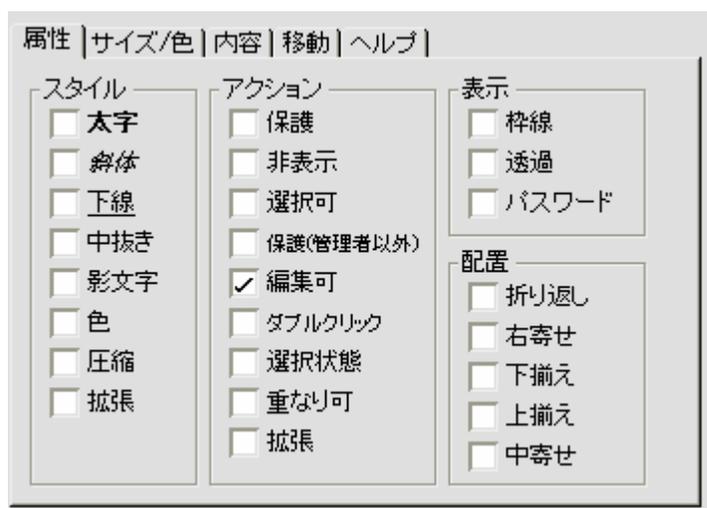
フィールド Type

それぞれのフィールドには特定のフィールド Type が設定されています。例えば、編集可能テキストのフィールド Type は「Text」です。この項目は編集できません。

フィールドの位置

フィールドの位置や大きさを変更することができます。

■ [属性] タブ



スタイル

フィールド内のテキストのスタイルと、フィールドの色を設定します。

圧縮

テキストを水平方向に圧縮します。

拡張

テキストを水平方向に拡張します。また、添付フィールドにおいて、添付の音声ファイルを音声プレーヤーペインなしに再生できるようにするためにも使用できます。

注意

Windows では、中抜き、影文字、圧縮、拡張はサポートされていません。

アクション

フィールドの動作を制御します。

保護

ユーザはフィールドの内容を変更できません。ユーザが [Tab] キーでフォーム上のフィールドを移動していた場合、この項目にチェックが入ったフィールドはスキップされます。

非表示

特別な場合を除いてフィールドが表示されません。

例えば、メッセージフォームでは、「添付ファイル」のフィールドは最初表示されていませんが、ユーザがファイルを添付すると見えるようになります。

選択可

フィールドの項目をクリックして選択できます。

保護（管理者以外）

保護と非表示が有効になっていても、管理者はフィールドの表示・編集ができます（ユーザはフィールドの内容を変更できません）。これはステーションナリの作成に使われます。

編集可

ユーザが [Tab] キーでこのフィールドへ移動し、編集することを可能にします。ただし、保護が有効になっていると、この項目にチェックを入れても無効になります。

ダブルクリック

ダブルクリックして FirstClass サーバとやり取りすることを許可します。

例えば、メッセージフォームで「差出人」フィールドの名前をダブルクリックすると、プロフィールが表示されます。

選択状態

フォームが開かれたときにカーソルがこのフィールドに表示されるようにします。

1つのフォーム上で、1つのフィールドのみこの項目を有効にすることができます。

重なり可

拡張するフィールドにのみ適用できます。このフィールドが広がって、下にある他のフィールドとぶつかったとき、下のフィールドを移動させずにその上に重なるようにします。

拡張

必要に応じて、フィールドが広がってより多くのデータを取り込むことができます。

表示

フィールドの表示方法を制御します。

枠線

フィールドに枠線を表示します。ユーザが3Dモードでない状態でフォームを表示した場合、枠線があるとフィールドの境界が見えるようになり、効果的です。

透過

フィールドを透明にして、他のフィールドの上に重なっても下のフィールドが見えるようにします。背景画像として画像フィールドを使う場合に効果的です。

パスワード

入力された文字を* (Windows)、または・ (Macintosh) で表示します。通常、パスワードのために利用されます。

配置

フィールド内へのテキストの配置方法を制御します。

折り返し

テキストを自動的に折り返し、フィールドにスクロールバーを表示します。

右寄せ

テキストを右寄せで表示します。

下揃え

テキストを下側に揃えて表示します。初期状態では、テキストは（上下方向に対して）中央揃えで表示されます。

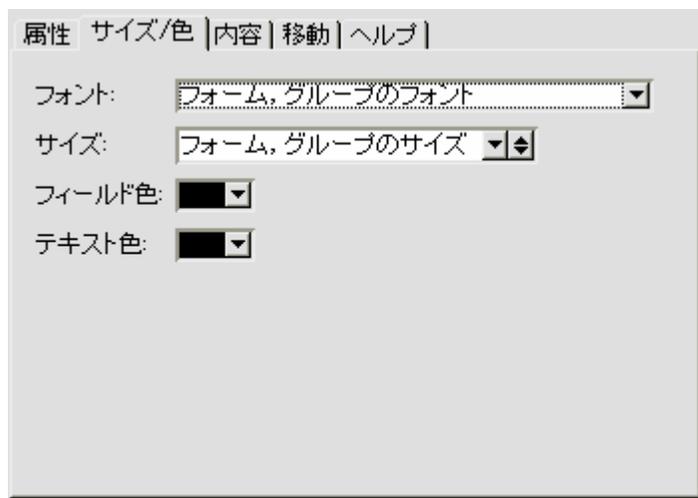
上揃え

テキストを上側に揃えて表示します。折り返しを選択すると、テキストは自動的に上揃えで表示されます。

中寄せ

テキストを（左右方向に対して）中寄せで表示します。

■ [サイズ/色] タブ



フォント

フィールド内のテキストのフォントです。フォームをカスタマイズする場合は、ユーザが使用していると思われるフォントを選択してください。

そのフィールドを含んでいるグループやフォームのフォントを使いたいときは[フォーム, グループのフォント]を選択してください。また、ユーザのシステムフォントを使う場合には[システムフォント]を選択してください。

注意

ラジオグループやタブコントロールのようなグループにフォントが指定されていない場合、[フォーム, グループのフォント]を選択するとそのフォームのフォントが使われます。フォームで使われるフォントは、[システムフォント]です。

サイズ

フィールド内のテキストのサイズです。サイズを数値で入力するか、設定されている値から選んでください。

見栄えのいいフォントサイズにするには[システムサイズ]を選択してください。Windowsでは10pt、Macintoshでは9ptに設定されます。このフィールドがラジオグループやタブコントロールに囲まれていて、それらのフィールドと同じサイズにする場合には、[フォーム, グループのサイズ]を選択してください。

注意

すべてのフォントに適用されるサイズは、[システムサイズ]です。

フィールド色

フィールドの背景色を指定します。

テキスト色

テキスト色を指定します。

■ [内容] タブ

このタブはフィールド形式により変化します。フィールドコントロールの欄以外は、それぞれのフィールド形式の項をご参照ください。

フィールドコントロール

「フィールドコントロール」フィールドを使用すると、このフィールド内で選択された値にしたがって、他のフィールド上で特定の動作を行うよう **FirstClass** に命令をすることができます。

このフィールドは、チェックボックス、数値、ラジオグループ、選択リスト（入力不可）の各フィールドで利用できます。これらのフィールドでユーザが選択する値によって、他のフィールドの値や状態が制御されます。例えば、選択する値によって次のような制御が可能になります。

他のラジオボタンを選択(1)またはクリア(0)する。

他のチェックボックスを選択(1)またはクリア(0)する。もしくは未変更(2)にする。

他のフィールドに数値を設定する。

他のフィールドのリストを選択する。

他のフィールドを表示(S)または非表示(H)にする。

他のフィールドを編集可(E)または編集不可(D)にする。

他のフィールドを保護(P)または非保護(U)にする。

注意

フィールドコントロールは、ユーザが選択を行って初めて動作が起こります。したがって、ユーザが最初にフォームを開いたときの表示が予定通りになっているかを、必ず確認してください。

フィールドコントロールでは、制御する側のフィールドでユーザが選択できる値と、制御されるフィールドで対応して起こる動作を、同じ制御命令文の中に続けて記述してセミコロンで区切ります。

以下にその例を示します。

・ **チェックボックスフィールドでのフィールドコントロールの使用**

チェックボックスフィールドで使用するフィールドコントロールの基本構文

状態/フィールドID: 動作

文法

状態は、このチェックボックスの選択状態（0、1、または2）です。

フィールドID は、ユーザがこのチェックボックスを選択したときに制御されるフィール

ドの ID です。

*動作*は、ユーザがこの状態を選択したときに、制御される側のフィールドで起こる動作です。

例

0/1003:1;1/1003:0

制御する側のチェックボックスがクリア(0)されると、ID1003 のチェックボックスが選択(1)されます。また、制御する側のチェックボックスが選択されると、ID1003 のチェックボックスがクリアされます。

・ 数値フィールドでのフィールドコントロールの使用

数値フィールドで使用するフィールドコントロールの基本構文

数値/フィールドID:*動作*

文法

*数値*は、このフィールドで設定する数値です(16進法の数値を、*X 数値*の形で設定できます)。

フィールド*ID*は、ユーザがこの番号を設定したときに制御されるフィールドの ID です。

*動作*は、ユーザがこの数値を設定したときに、制御される側のフィールドで起こる動作です。

例

5/1002:S;10/1002:H

制御する側の数値フィールドの値が5になると、ID1002 のフィールドが表示されます。また、制御する側の数値フィールドの値が10になると、ID1002 のフィールドが非表示になります。

・ ラジオグループフィールドでのフィールドコントロールの使用

ラジオグループフィールドで使用するフィールドコントロールの基本構文

ボタン*値*/フィールドID:*動作*

文法

ボタン*値*は、このラジオグループのラジオボタンに割り当てた数値です。

フィールド*ID*は、ユーザがこのボタンを選択したときに制御されるフィールドの ID です。

*動作*は、ユーザがこのボタンを選択したときに、制御される側のフィールドで起こる動作です。

例

0/1003:1;1/1003:0

ラジオボタン0が選択されると、ID1003 のチェックボックスも選択されます。また、ラジオボタン1が選択されると、ID1003 のチェックボックスはクリアになります。

0/1021:2;1/1021:1

ラジオボタン0が選択されると、ID1021のラジオグループのラジオボタン2も選択されます。また、ラジオボタン1が選択されると、ID1021のラジオグループのラジオボタン1も選択されます。

- ・ **選択リスト（入力不可）フィールドでのフィールドコントロールの使用**

選択リスト（入力不可）フィールドで使用するフィールドコントロールの基本構文

リスト値/フィールドID:動作

文法

*リスト値*は、このリストの選択項目に割り当てられた数値です。

*フィールドID*は、ユーザがこの項目を選択したときに制御されるフィールドのIDです。

*動作*は、ユーザがこの項目を選択したときに、制御される側のフィールドで起こる動作です。

例

0/1024:36;1/1024:100

制御する側のリストの先頭項目が選択されると、ID1024の数値フィールドの値が36に設定されます。制御する側のリストの2番目の項目が選択されると、ID1024の数値フィールドの値が100に設定されます。

- ・ **1つのフィールドで複数の動作を実行**

フィールドコントロールを使用して、両立可能な複数の動作を同じフィールドで実行することができます（例えば、数値フィールドに特定の数値を設定すると、編集不可になってユーザがその数値を変更できなくなるなど）。

2つの動作を実行する構文

値/フィールドID:動作1:動作2

例

1/1003:10:D

制御する側のフィールドが1になる（例えば、チェックボックスが選択される）と、ID1003の数値フィールドが10に設定され、編集不可となる。

- ・ **複数のフィールドを制御するためのフィールドコントロールの使用**

フィールドコントロールで、複数のフィールドの動作を制御することができます。制御される側のフィールドはすべて、同じ制御命令文の中に記述します。制御する側のフィールドで特定の値が選択されたときに、制御される側のフィールドすべてで起こる動作は、ハイフンで区切ります。また、値はセミコロンで区切ります。

基本構文

値1/フィールドID1:動作1;-フィールドID2:動作2;値2/フィールドID3:動作3-フィ

フィールドID4:動作4

文法

値1は、チェックボックスの状態、数値フィールドで設定した数値、ラジオボタンの選択値、またはリストの選択値です。

フィールドID1は、ユーザが値1を選択したときに制御される最初のフィールドのIDです。

動作1は、ユーザが値1を選択したときにフィールドID1で起こる動作です。

フィールドID2は、ユーザが値1を選択したときに制御される次のフィールドのIDです。

動作2は、ユーザが値1を選択したときにフィールドID2で起こる動作です。

値2は、別のチェックボックスの状態、数値、ラジオボタンの選択値、またはリストの選択値です。

フィールドID3は、ユーザが値2を選択したときに制御される最初のフィールドのIDです。

動作3は、ユーザが値2を選択したときにフィールドID3で起こる動作です。

フィールドID4は、ユーザが値2を選択したときに制御される次のフィールドのIDです。

動作4は、ユーザが値2を選択したときにフィールドID4で起こる動作です。

例

0/1003:1-1021:2;1/1003:0-1021:1

制御する側のチェックボックスがクリアされると、ID1003のチェックボックスが選択され、ID1021のラジオグループのラジオボタン2が選択されます。また、制御する側のチェックボックスが選択されると、ID1003のチェックボックスがクリアされ、ID1021のラジオグループのラジオボタン1が選択されます。

ある範囲の値で制御を行うためのフィールドコントロールの使用

ある範囲の値（1から10など）のいずれかが選択されると、制御される側のフィールドで同じ動作が起こるようにしたい場合は、次の構文を使用します。

値-値/フィールドID:動作

例

1-10/2010:H

ユーザが1から10のいずれかの値を設定すると、ID2010のフィールドが非表示になります。

■ [移動] タブ

属性 | サイズ/色 | 内容 | **移動** | ヘルプ |

水平方向

- 何もしない
- 左端を固定してサイズ変更
- 右端を固定して移動

垂直方向

- 何もしない
- 上端を固定してサイズ変更
- 下端を固定して移動

フォームのウィンドウサイズが変わったときの、フィールドの位置と大きさを設定します。

水平方向

ウィンドウのサイズが横方向に変化した場合の設定です。

何もしない

フィールドは常にそのままです。

左端を固定してサイズ変更

左辺が固定されたまま、ウィンドウに合わせてフィールドのサイズが変化します。

右端を固定して移動

右辺が固定されたまま、ウィンドウサイズに合わせてフィールドが移動します。右寄せの設定をしたフィールドにのみ適用してください。

垂直方向

ウィンドウのサイズが縦方向に変化した場合の設定です。

何もしない

フィールドは常にそのままです。

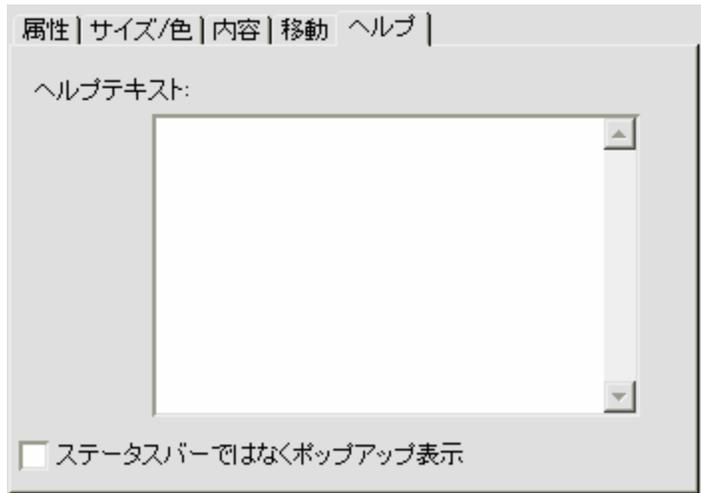
上端を固定してサイズ変更

上辺が固定されたまま、ウィンドウに合わせてフィールドのサイズが変化します。

下端を固定して移動

下辺が固定されたまま、ウィンドウサイズに合わせてフィールドが移動します。

■ [ヘルプ] タブ



このタブでは、このフィールドのヘルプをユーザに見せる方法を設定します。

ヘルプテキスト

このフィールドのヘルプです。

ステータスバーではなくポップアップに表示

ステータスバーではなく、ツールチップにヘルプを表示させます。

フィールド形式

この項では、さまざまなフィールド形式について、フォームへのフィールドの追加方法を説明します。

フォームに追加することができるフィールド形式は次のとおりです。

メッセージフィールドの各フィールド

日付、差出人、宛先のような標準的なフィールドで、通常はメッセージフォームの宛先領域で使われます。

画像、アイコン

画像リソース、アイコンリソースを貼り付けることができます。

直線、四角形、各丸四角形、楕円

線や図形を配置することができます。

編集可能テキスト、ガイドテキスト、マーキー

ユーザにテキストを入力させたり、フィールドラベル、スクロールテキストを表示します。

アイコン付きテキスト

アイコン付きの文字列を表示します。

連結

特定の複数のフィールドの値を連結して表示します。

数値

ユーザに数字を入力させます。

グループボックス

チェックボックスのような複数のフィールドを囲み、そのタイトルを表示します。

期間

期間を表示します。

チェックボックス

選択肢に使用されます。

ラジオグループ、ラジオボタン

複数からただ1つしか選択できない選択肢として使われます。

コマンドボタン

コマンドを実行するボタンです。

URL ボタン

インターネット、あるいは **FirstClass** からアクセスできるアドレスへのリンクを提供します。

フォームボタン

他の **FirstClass** のフォームへのリンクを提供します。

複製グループ

他のフォームの内容を表示します。複製ボタンで表示する行を増やすことができます。

複製ボタン

複製グループの行の追加・挿入・削除ができるボタンです。

折りたたみグループ

グループ内の複数のフィールドの表示・非表示を切り替えることができます。

マルチフィールドセレクタ

表示するフィールドをドロップダウンリストから選択できます。

選択リスト(入力不可)、選択リスト(入力可)

ドロップダウンリストからの選択、または直接入力ができます。

フォームリスト

使用できるフォームのリストです。

日付セレクト

ポップアップで表示されるカレンダーから日付を選択させます。

フォントセレクト、カラーセレクト

ユーザにダイアログボックスから色やフォントを選択させます。

ファイルセレクト

ファイルを選択するためのウィンドウを開きます。

進行状況バー

ファイルのアップロードのような、進行状況を表すバーです。

データベース機能拡張またはクライアント機能拡張だけで動作するフィールド

拡張リスト

自動的に拡張されて複数の項目を表示するリストです。

ファイルビューア

jpg、bmp、あるいはクライアント機能拡張でサポートしたフォーマットの画像ファイルを表示します。

固定リスト

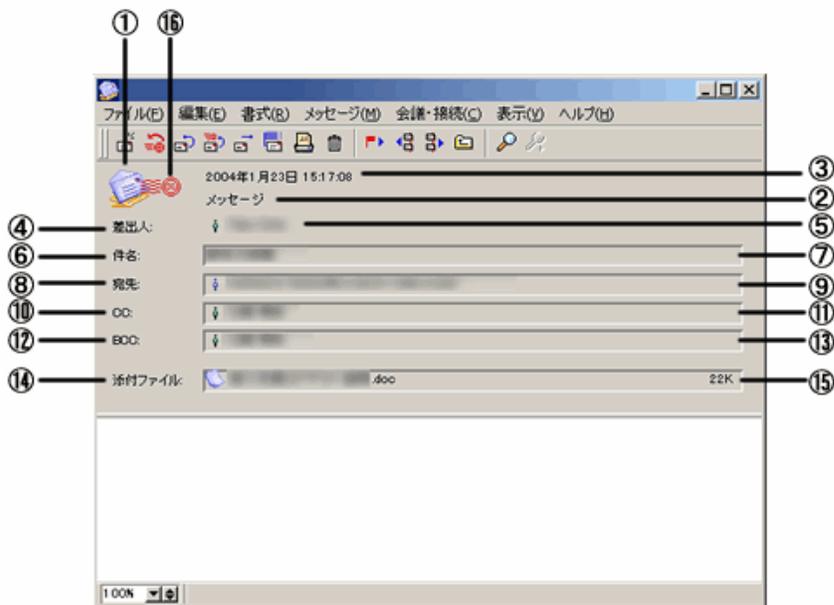
複数の項目を表示するリストで、必要な場合はスクロールバーが表示されます。

タブコントロール

タブ付きのフォームを作成します。

■ メッセージフィールドの各フィールド

メッセージフィールドは、通常、メッセージフォームの宛先領域で使用されます。



以下の 16 種類のフィールドがあります。

①メッセージアイコン

Mailbox や会議室のメッセージに表示されるアイコンです。FirstClass クライアント上でユーザが変更することができます。

②メッセージステータス

メッセージが送信されたかどうかを表示します。未送信の場合、「未送信メッセージ」と表示されます。

③メッセージ日付

メッセージが送信された日時を表示します。

④差出人: (ガイド)

差出人フィールドのラベルです。

⑤差出人

差出人の名前を表示します。

⑥件名: (ガイド)

件名フィールドのラベルです。

⑦件名

件名を表示します。未送信メッセージではユーザが編集可能ですが、送信済みメッセージでは編集不可になります。

⑧宛先: (ガイド)

宛先フィールドのラベルです。

⑨宛先

宛先を表示します。未送信メッセージではユーザが編集可能ですが、送信済みメッセージでは編集不可になります。また、宛先の数によってフィールドの大きさが拡張します。

⑩CC: (ガイド)

CC フィールドのラベルです。

⑪CC

CC を表示します。未送信メッセージではユーザが編集可能ですが、送信済みメッセージでは編集不可になります。また、CC の数によってフィールドの大きさが拡張します。

⑫BCC: (ガイド)

BCC フィールドのラベルです。

⑬BCC

BCC を表示します。未送信メッセージではユーザが編集可能ですが、送信済みメッセージでは編集不可になります。また、BCC の数によってフィールドの大きさが拡張します。

⑭添付ファイル: (ガイド)

添付ファイルフィールドのラベルです。添付ファイルがないメッセージでは表示されません。

⑮添付ファイル

添付ファイル名が表示されます。添付ファイルの数によってフィールドの大きさが拡張します。

⑯消印

アイコンリソースのアイコン画像か、画像リソースの画像を表示できます。未送信メッセージでは非表示で、送信済みメッセージでは表示されます。

フィールドをフォームに追加するには…

メニューバーの [フィールド] > [メッセージフィールド] から該当する項目を選択して、フィールドをフォームに追加してください。

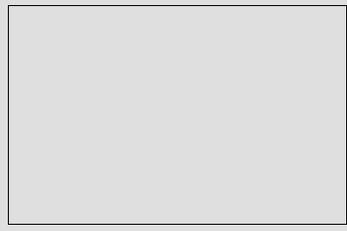
必要に応じて、フィールド属性の設定を行ってください。

注意

メッセージフィールドの各フィールドにはそれぞれ特定のフィールド ID が割り当てられていますので、フィールド ID は変更しないでください。

■ 画像、アイコン

作成時



完成時



画像フィールドおよびアイコンフィールドには、ユーザが編集することができない画像を格納することができます。

- ・ 画像
FirstClass にあるデフォルトの画像、または設定ファイルかサーバ内のカスタム画像。
- ・ アイコン
FirstClass にあるデフォルトのアイコン、または設定ファイルかサーバ内のアイコン。

画像フィールドまたはアイコンフィールドには、選択したリソースのポインタ情報が含まれません。実際のリソースの複製が含まれているわけではないため、ユーザがこのフィールドを見るには、該当するリソースが利用できるような状態になっていなければなりません。したがって、カスタムの画像またはアイコンリソースを使用する場合は、そのリソースが設定ファイル内にあるか、サーバに保存されていなければなりません。

画像、アイコンを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [画像] から、[画像] または [アイコン] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 追加したフィールドをダブルクリックして、その設定ファイルで利用できる画像リソースまたはアイコンリソースの一覧を表示させ、貼り付けたい画像をクリックしてください。
選択した画像が大きすぎる場合や、設定ファイル内ではなくサーバに保存されたリソース使用したい場合は、フィールド属性の [内容] タブの [リソース ID] に、そのリソース ID を入力してください。
4. フィールドの大きさをリソースに合わせたい場合は、メニューバーから [アレンジ] > [サイズ] > [実際の大きさに合わせる] を選択してください。

■ 直線、四角形、角丸四角形、楕円

直線、四角形、角丸四角形、楕円フィールドには、ユーザが編集することができない画像を格納することができます。

フォームに格納できる画像の種類は次のとおりです。

- ・ 直線
直線です。
- ・ 四角形
枠または内部に色をつけることができる長方形です。
- ・ 角丸四角形
角が丸い長方形です。
- ・ 楕円形
枠または内部に色をつけることができる楕円です。

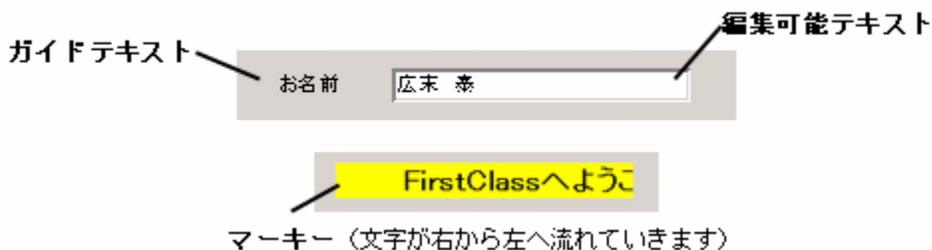
直線、四角形、角丸四角形、楕円を追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [画像] から [直線] [四角形] [角丸四角形] [楕円] のいずれかを選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。

💡 直線フィールドのヒント

- 直線は、フィールドの左上から右下に描かれます。
- フィールドをフォーム上にクリックで配置してサイズを変更しなければ、水平線になります。
- 斜めの直線を描くには、フィールドの大きさを変えてください。斜めの直線を反転させるには、フィールド属性の [内容] タブで [右上から左下へ描画] を選択してください。
- 垂直線を描くには、垂直線に見えるようになるまでフィールドのサイズを変更してください。
- 直線の太さを 1 にすると、3D 表示モードでは窪みのある直線になります。直線の太さを変更するには、[内容] タブの [太さ] の値を変えてください。

■ 編集可能テキスト、ガイドテキスト、マーキー



フォームにテキストを追加します。次の3種類のフィールドがあります。

- ・ 編集可能テキスト
ユーザが文字を入力することのできるフィールドです。
- ・ ガイドテキスト
フィールドラベルです。ユーザは編集できません。
- ・ マーキー
文字が右から左へ自動的にスクロールして表示されます。ユーザは編集できません。

編集可能テキスト、ガイドテキスト、マーキーを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [テキストと数値] から [編集可能テキスト] [ガイドテキスト] [マーキー] のいずれかを選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要におうじて、フィールド属性の次のフィールドを設定してください。

重なり可 ([属性] タブ)

これを有効にすると2行以上の文章を入力できるようになります。コメントなど通常多くの内容を入力するフィールドには、このオプションを有効にすることをお奨めします。

テキスト ([内容] タブ)

表示するテキストを入力します。

編集可能テキストでは、あらかじめユーザに読ませたいテキストがある場合以外、入力する必要はありません。

最大文字数 ([内容] タブ)

編集可能テキストで、ユーザが入力できる文字数を制限したい場合、このフィールドに値を設定します。フィールドのサイズが入力文字数におうじて変更されるように設定しない場合、フィールドの枠を超える文字数をユーザが入力すると、入力時に文字がスクロールされます。

■ アイコン付きテキスト

作成時



完成時



アイコン付きテキストでは、アイコンの後に文字が表示されます。標準のメッセージフォームの [宛先] フィールドと同じように表示されます。

アイコン付きテキストを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [テキストと数値] > [アイコン付きテキスト] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要に応じて、フィールド属性の次のフィールドを設定してください。

保護 ([属性] タブ)

ユーザがこのフィールドを変更できないようにします。

テキスト ([内容] タブ)

表示するテキストを入力します。

最大文字数 ([内容] タブ)

ユーザが入力できる文字数を制限したい場合、ユーザが入力できる最大文字数を設定します。

アイコン ID ([内容] タブ)

テキストの左側に表示させるアイコンのリソース ID です。

■ 連結

作成時



完成時



指定した他の複数のフィールドに入力された値を連結表示します。これは、例えば「姓」フィ

フィールドと「名」フィールドのように、文字数が多少変わっても極端な差が出ないような2つのフィールドの値を表示させるのに効果的です。

連結フィールドを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [テキストと数値] > [連結] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、次の設定を行ってください。

フィールド ID

このフォーム上で連結表示させたいフィールドのフィールド ID を入力し ; (セミコロン) で区切ります。ここで入力した順序で連結表示されます。

テキストを入力することで、どのようなフィールドも選択できます。例えば、日付フィールドや数値フィールドのほか、チェックボックスやラジオボタンも指定できます。

間に入れる文字

スペースや、(カンマ) とスペースなど、複数のフィールドの値の間に表示したい文字を入力します。

■ 数値

作成時

完成時

ユーザが数値を入力、変更することができるフィールドです。このフィールドには、クリックするとあらかじめ設定した増分だけ数値が増加または減少するボタンが付いています。

選択肢を登録して、数値フィールドを編集可能な選択リストにすることができます。この場合、フィールドにはドロップダウンボタンも表示されます。

数値フィールドを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [テキストと数値] > [数値] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要におうじて、フィールド属性の [内容] タブにある [データ] タブで次のフィールドを設定してください。

初期値

初期状態でフィールドに表示する数値です。

最小値

入力を許可する最小の数値です (N/A は未設定のままです)。

最大値

入力を許可する最大の数値です (N/A は未設定のままです)。

乗数

このフィールドの数値をサーバへ送信する前に、この項目に設定された数値が乗算されず (N/A は未設定のままです)。

増分

ユーザがフィールドの▲または▼をクリックすると、この項目に設定された値ずつ数値が増加または減少します。乗数に数値を設定した場合は、ここに同じ数値を設定することをお勧めします。(N/A は未設定のままです。)

フォーマット

プレースホルダー (%ld) 用の C 言語 `printf` フォーマットを含む文字列を入力すると、このフィールドの数値が、文字列のプレースホルダーの部分に表示されます。

例

あなたのアカウントは%ld日以内に期限切れになります。

4. 必要に応じて、フィールド属性の [内容] タブにある [リスト] タブで次のフィールドを設定してください。

リスト

選択リストを設定したい場合に、選択肢を登録するリストです。選択肢は ; (セミコロン) で区切ります。テキストを数値にマッピングさせることができるため、ユーザが特定の番号を入力すると、その選択肢がわかりやすい形式で表示されるようにすることができます。こうするには、選択肢を次の形式で入力し、各選択肢を ; (セミコロン) で区切ります。

テキスト=数値 (半角)

例

1 ダース=12

ユーザが 12 を入力して Tab キーを押すと、フィールドには「1 ダース」と表示されます。

リストからのみ選択

ユーザにリストから選択させます。

リストを隠す

選択肢を隠して、ユーザが選択肢を選ばないようにします。これは、ユーザが選択する必要のない選択肢を登録した場合に効果的です。

ドロップダウンアイコン ID

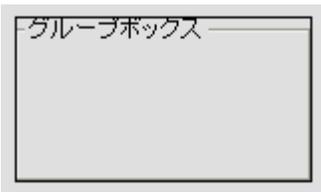
ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選ぶと、デフォルトの矢印アイコンになります。

5. このフィールドから他のフィールドを制御したい場合は、フィールド属性の [内容] タブにある [フィールドコントロール] タブを設定します。

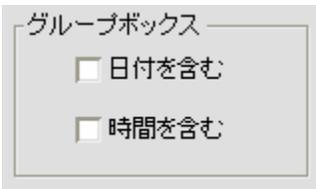
詳細は、「フィールドコントロール」の項を参照してください。

■ グループボックス

作成時



完成時



グループボックスは、チェックボックスなど関連するフィールドをまとめ、それらのフィールドの目的を現すタイトルを表示します。

グループボックスは、その中に配置したチェックボックスなど他のフィールドの動作には全く影響を与えません。複数の選択肢から1つを選択させるようなフィールドを作成する場合には、ラジオボタンとラジオグループを利用してください。

グループボックスを作成してから、その中に入れる他のフィールドを追加すれば、グループボックスが他のフィールドを隠してしまうことはありません。グループボックスを最後に作成した場合は、中に入れるフィールドにその大きさを合わせて、メニューから [アレンジ] > [順序] > [最背面へ移動] を選んでください。

グループボックスを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [テキストと数値] > [グループボックス] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、次の設定を行ってください。

名前

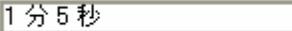
このグループボックスのタイトルです。

■ 期間

作成時



完成時



期間フィールドは、期間を表します。

選択肢を登録して、期間フィールドを編集可能な選択リストにすることができます。この場合、フィールドにはドロップダウンボタンも表示されます。

期間フィールドを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [テキストと数値] > [期間] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要に応じて、フィールド属性の [内容] タブを開き、次の設定を行ってください。

初期状態 ([データ] タブ)

デフォルトで表示する期間です。秒単位で入力してください。

入力単位 ([データ] タブ)

ユーザが入力した値を表示させる単位です。例えば、「時間」を選択した場合、ユーザが「3」を入力するとフィールドには「3 時間」と表示されます。

週・日・時・分・秒 ([表示単位] タブ)

ユーザが入力した期間を表示させたい単位を選択します。内部では、値は常に秒単位で格納されます。

例

「分」と「秒」を選択した場合、65 秒は「1 分 5 秒」と表示されます。「分」だけを選択した場合、65 秒は「1 分」と表示されます。

「日」「時」「分」「秒」を選択した場合、123456 秒は「1 日 10 時間 17 分 36 秒」と表示されます。

リスト ([リスト] タブ)

選択リストを設定したい場合に、選択肢を登録するリストです。選択肢は ; (セミコロン) で区切ります。このフィールドにはどのような数値を入力してもつねに秒単位で格納されます。

テキストを数値にマッピングさせることができるため、ユーザが特定の期間を入力すると、その選択肢がわかりやすい形式で表示されるようにすることができます。こうするには、

選択肢を次の形式で入力し、各選択肢を；(セミコロン) で区切ります。

テキスト= 値 (秒単位)

例

週労働時間=144000

ユーザが 40 時間を入力して Tab キーを押すと、フィールドには「週労働時間」と表示されます。

リストからのみ選択 ([リスト] タブ)

ユーザにリストから選択させます。

選択リストを非表示 ([リスト] タブ)

選択肢を隠して、ユーザが選択肢を選べないようにします。これは、ユーザが選択する必要のない選択肢を登録した場合に効果的です。

ドロップダウンアイコン ID ([リスト] タブ)

ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選ぶと、デフォルトの矢印アイコンになります。

■ チェックボックス

作成時

 チェックボックス

完成時

 電話をしてください。

チェックボックスは、ユーザにチェックするか (オン) クリアにするか (オフ) を選択させます。チェックボックスは、グループボックス内に表示させることができます。

標準のチェックボックス状態を使用してチェックボックスを追加する方法

FirstClass の標準的なチェックボックス状態は次のようになります。

- 選択された状態
- クリアな状態
- 変更なし

フィールドをフォームに追加する方法は次のとおりです。

1. メニューバーから [フィールド] > [ボタンとグループ] > [チェックボックス] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。

3. フィールド属性の [内容] タブにある [データ] タブで、次の設定を行ってください。

名前

チェックボックスに表示するテキスト（ラベル）です。

数

2 または 3 を選択します。「2」では「選択された状態」と「クリアな状態」が利用できます。「3」では「変更なし」も利用できます。

初期状態

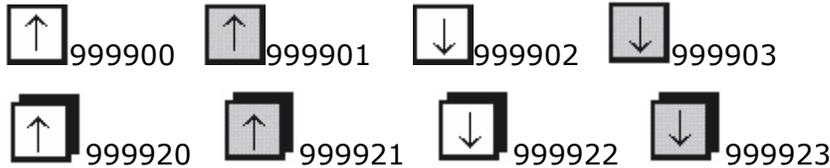
デフォルトのチェックボックスの状態です。デフォルトにしたい状態が表示されるまでクリックしてください。

4. このフィールドから他のフィールドを制御したい場合は、フィールド属性の [内容] タブにある [フィールドコントロール] タブを設定します。

詳細は、「フィールドコントロール」の項を参照してください。

チェックボックス状態をカスタマイズしてチェックボックスを追加する方法

次の例のように、チェックボックスの状態にカスタムアイコンを使用することができます。



カスタムアイコンを利用する場合、

- ・ 状態ごとに2つのアイコンを作成し、かつ（3D表示を使用するかしないか決めていても）3D表示が無効の場合と有効の場合用に作成します。上の例では、3Dが無効な場合と有効な場合の両方について、↑と↓の2つの状態のアイコンがあります。
- ・ グレーの各アイコンは、その左側にあるアイコンと状態（矢印の向き）が同じです。これらのアイコンは、チェックボックスがクリック中であることを表します。
- ・ アイコンには枠線を付けて、チェックボックスらしく見えるようにしてください。また、3D表示用のアイコンには影をつけるなどして3Dらしく見えるようにしてください。

カスタムアイコンを使用する方法は次のとおりです。

1. 設定ファイルにアイコンをインポートします。

上の例にあるように、同じ種類のアイコンのリソースIDは連番で振るようになっています。番号を振り分ける方法は次のとおりです。

- 番号を振る順番は、ユーザがチェックボックスでクリックを繰り返したときに表示させたい順番にしてください。
- まず、3D表示が無効の場合のアイコンすべてに対して、1ずつ大きくなるように番号を振ってください。上の例では、999900 から 999903 までを割り振っています。

- 次に、3D表示が無効の場合のアイコンに「20」を加えた数値を、3D表示が有効の場合のアイコンに割り振ってください。上の例では、999920 から 999923 までを割り振っています。
- 2. メニューから [フィールド] > [ボタンとグループ] > [チェックボックス] を選択してください。
- 3. フィールドをフォームに追加してください。
チェックボックスのフィールドは、アイコンが入る大きさにしてください。
- 4. フィールド属性の [内容] タブにある [データ] タブで、次の設定を行ってください。

名前

チェックボックスに表示するテキスト（ラベル）です。

数

状態の数です。この番号が「選択された状態」か「クリアな状態」のどちらかを表したり、3D表示が有効か無効かを表したりするわけではありません。上の例では、2つの状態を設定します。設定可能な状態の最大数は10です。

初期状態

デフォルトのチェックボックスの状態です。デフォルトにしたい状態が表示されるまでクリックしてください。

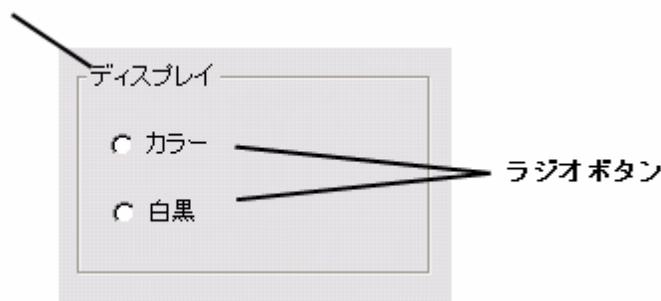
アイコンID

一番最初のアイコンのリソースIDです。上の例では、999900 になります。

- 5. このフィールドから他のフィールドを制御したい場合は、フィールド属性の [内容] タブにある [フィールドコントロール] タブを設定します。
詳細は、「フィールドコントロール」の項を参照してください。

■ ラジオグループ、ラジオボタン

ラジオグループ



ラジオグループとラジオボタンを利用すると、ユーザに複数の選択肢から1つを選択させることができます。

ラジオグループは、関連するラジオボタンを囲むタイトル付きのボックスです。同じグループ

内のラジオボタンはどれも、同時に1つしか選択できないようになります。

ラジオボックスを作成してから、その中に入れるラジオボタンを追加すれば、ラジオボックスが他のフィールドを隠してしまうことはありません。ラジオボックスを最後に作成した場合は、中に入れるラジオボタンにその大きさを合わせて、メニューから [アレンジ] > [順序] > [最背面へ移動] を選んでください。

ラジオグループを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [ボタンとグループ] > [ラジオグループ] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要におうじて、フィールド属性の [内容] タブを開き、次の設定を行ってください。

名前

このラジオグループのタイトルです。

フィールドコントロール

このフィールドが他のフィールドを制御する方法です。このような処理をさせたい場合にだけ、このフィールドを編集してください。詳細は、「フィールドコントロール」の項を参照してください。

ラジオボタンを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [ボタンとグループ] > [ラジオボタン] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要におうじて、フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

テキスト

ラジオボタンのラベルです。

選択済み

このラジオボタンを、グループ内のデフォルトのラジオボタンにします。

アイコン ID

アイコンをラジオボタンに登録する場合の、アイコンのリソース ID です。テキストとアイコンの両方がある場合、テキストはアイコンの下に表示されます。

値

このラジオボタンが選択されたときにサーバに送信される値です。

同じラジオグループ内のラジオボタンはすべて、一意の値を持っていなければなりません。

ラジオボタンを作成したときに割り当てられたデフォルトの値を有効にした場合、最初に作成されたボタンには 0、次のボタンには 1.. というように順番に値が割り当てられています。

カスタマイズしたラジオボタンの使用

チェックボックスと同じように、ラジオボタン用にカスタムアイコンを作成することができます。その方法については、「チェックボックス」の項を参照してください。

■ コマンドボタン



ユーザがクリックして、FirstClass のコマンドを実行することができるボタンです。

コマンドボタンを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [ボタンとグループ] > [コマンドボタン] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要におうじて、フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

名前

ボタン名です。

コマンド

実行されるコマンドのコマンド名、またはコマンドに割り当てられたコマンド番号です。

ドロップダウンリストからコマンドを選択するか、隣のフィールドにコマンド番号を入力してください。ドロップダウンリストには、よく使用されるコマンドのほとんどが含まれています。コマンド番号の一覧は下にあります。

アイコン ID

ボタンにアイコン画像を追加する場合の、アイコンのリソース ID です。ボタンに名前をアイコンの両方が含まれる場合、名前はアイコンの下に表示されます。

Return/Enter キー

このボタンを、ユーザが [Enter] または [Return] キーを押したときのデフォルトの動作にします。これを有効にした場合、ボタンに枠線が表示されます。

テキスト表示

FirstClass クライアントのツールバーで、ユーザがアイコンとテキストを表示できるようになります。このフィールドは、ツールバーフォーム上のコマンドボタンだけに表示され

ます。

自動繰り返し

ユーザがボタンを押し続けたら、繰り返しボタンが押されているように動作させます。

コマンド番号

原則として、FirstClass クライアントのメニューバーに表示される順番に記載しています。

(ファイル)

| | |
|-------------|-----|
| 新規ドキュメント | 128 |
| 新規メモ | 399 |
| 新規プレゼンテーション | 714 |
| 新規アドレス | 364 |
| 新規メールリスト | 365 |
| 新規ブックマーク | 397 |
| 新規予定 | 376 |
| 新規作業 | 358 |
| 新規音声グリーティング | 375 |
| 新規会議室 | 171 |
| 新規フォルダ | 140 |
| 新規共有カレンダー | 383 |
| 新規備品カレンダー | 384 |
| 新規場所カレンダー | 385 |
| 新規受信ルール | 372 |
| 新規送信ルール | 373 |
| 新規詳細ルール | 374 |
| 新規チャットルーム | 233 |
| 選択したアイテムを開く | 3 |
| リンクを開く | 600 |
| デスクトップを開く | 196 |
| メールボックスを開く | 347 |
| コンタクトを開く | 338 |
| ブックマークを開く | 363 |
| ホームページを開く | 346 |

| | |
|------------------------------------|-----|
| プロフィールを開く | 150 |
| カレンダーを開く | 354 |
| 音声グリーティングを開く | 344 |
| メモを開く | 387 |
| マイ共有ドキュメントを開く | 850 |
| 閉じる | 4 |
| 別名で保存 | 6 |
| アップロード/添付 | 160 |
| ダウンロード/添付データを保存 | 161 |
| ファイルの表示 | 339 |
| フォルダとファイルのインポート | 392 |
| アドレスのインポート | 393 |
| カレンダーのインポート | 400 |
| エクスポート | 391 |
| 削除 | 144 |
| 削除の取り消し | 366 |
| プロパティ (Windows) /情報を見る (Macintosh) | 143 |
| 印刷レイアウト | 134 |
| 印刷 | 9 |
| 終了 | 1 |
| (編集) | |
| 元に戻す | 16 |
| やり直し | 17 |
| すべての変更を取り消す | 7 |
| 切り取り | 18 |
| コピー | 19 |
| 貼り付け | 20 |
| クリア | 21 |
| すべて選択 | 23 |
| 形式を選択して貼り付け | 506 |
| 検索 | 145 |
| 次を検索 | 146 |

| | |
|---------|-----|
| 前を検索 | 527 |
| 置換 | 522 |
| 署名の挿入 | 355 |
| 画像の挿入 | 540 |
| 音声の挿入 | 360 |
| 改ページの挿入 | 555 |
| 水平線の挿入 | 501 |
| リンクの挿入 | 701 |
| マーカの挿入 | 700 |
| 背景画像の挿入 | 709 |
| 表の挿入 | 500 |
| 行を上へ挿入 | 582 |
| 列を左へ挿入 | 580 |
| 行の削除 | 583 |
| 列の削除 | 581 |
| 行の統合 | 584 |
| 列の統合 | 585 |
| 行の分割 | 586 |
| 列の分割 | 587 |
| マーカの作成 | 702 |
| リンクの作成 | 703 |
| マーカの一覧 | 705 |
| リンクの一覧 | 706 |
| スペルチェック | 515 |
| 基本設定 | 149 |
| (書式) | |
| サイズ 8 | 460 |
| サイズ 9 | 461 |
| サイズ 10 | 462 |
| サイズ 12 | 463 |
| サイズ 14 | 464 |
| サイズ 18 | 465 |

| | |
|-----------|-----|
| サイズ 24 | 466 |
| サイズ 36 | 467 |
| サイズ 48 | 468 |
| サイズ 60 | 469 |
| サイズ 72 | 470 |
| サイズを小さくする | 54 |
| サイズを大きくする | 55 |
| 標準 | 30 |
| 太字 | 31 |
| 斜体 | 32 |
| 下線 | 33 |
| 引用 | 36 |
| 上付き | 38 |
| 下付き | 39 |
| 取り消し線 | 40 |
| リテラル HTML | 34 |
| 黒 | 451 |
| 灰色 | 452 |
| 緑 | 453 |
| 黄 | 454 |
| オレンジ | 455 |
| 赤 | 456 |
| ピンク | 457 |
| 青 | 458 |
| 茶 | 459 |
| その他の色 | 57 |
| 左揃え | 558 |
| 右揃え | 559 |
| 中央揃え | 560 |
| インデントを大きく | 563 |
| インデントを小さく | 562 |
| 選択範囲の書式設定 | 530 |

| | |
|----------------|-----|
| 段落の書式設定 | 511 |
| マージンの書式設定 | 510 |
| 背景の書式設定 | 708 |
| 表の書式設定 | 512 |
| セルの書式設定 | 513 |
| デフォルトに戻す | 105 |
| (メッセージ) | |
| 新規メッセージ | 168 |
| 返信 | 153 |
| 元のメッセージを含める | 159 |
| 全員に返信 | 156 |
| 差出人にのみ返信 | 157 |
| 会議室にのみ返信 | 158 |
| 元の作成者にのみ返信 | 351 |
| 転送 | 154 |
| 送信 | 152 |
| 送信して閉じる | 369 |
| 送信取り消し | 155 |
| 詳細ルールの実行 | 481 |
| 受信ルールの実行 | 482 |
| 履歴の表示 | 163 |
| 既読/未読にする | 167 |
| 選択アイテムの要約 | 199 |
| 重要度 高 | 300 |
| 重要度 中 | 301 |
| 重要度 低 | 302 |
| 秘密度 標準 | 308 |
| 秘密度 個人 | 309 |
| 秘密度 非公開 | 310 |
| 秘密度 会社 | 311 |
| 開封確認メッセージを受け取る | 316 |
| 配信確認メッセージを受け取る | 317 |

| | |
|--------------------|-----|
| ルーティング確認メッセージを受け取る | 318 |
| 不達メッセージを送らない | 322 |
| (ツール) | |
| 接続 | 330 |
| 切断 | 331 |
| 接続状況の一覧 | 191 |
| パスワードの変更 | 148 |
| 接続設定 | 193 |
| ディレクトリ | 162 |
| 在席確認 | 174 |
| 1つ上へ | 348 |
| 次のアイテム | 141 |
| 前のアイテム | 641 |
| 次の未読アイテム | 169 |
| 前の未読アイテム | 669 |
| 次の関連メッセージ | 142 |
| 前の関連メッセージ | 642 |
| コンタクトに追加 | 275 |
| カレンダーに追加 | 296 |
| デスクトップに追加 | 170 |
| ブックマークに追加 | 276 |
| 権限 | 172 |
| ルール | 480 |
| 承認 | 175 |
| 会議室のプロフィール | 176 |
| オフラインで接続 | 327 |
| オフラインの設定 | 328 |
| すぐに送信 | 329 |
| オフライン会議室を開く | 332 |
| インスタントメッセージ | 472 |
| (表示) | |
| アイコン表示 | 181 |

| | |
|-------------------------|-----|
| 小さいアイコン表示 | 188 |
| 詳細表示 | 183 |
| インデックスカード表示 | 189 |
| エクスペローラ表示 | 198 |
| 月表示 | 182 |
| 週表示 | 184 |
| 日表示 | 185 |
| 今日の一覧の表示 | 187 |
| 分割しない | 177 |
| 上下に分割 | 178 |
| 左右に分割 | 179 |
| すべてのアイテムの表示 | 404 |
| 受信アイテムのみ表示 | 405 |
| 未読アイテムのみ表示 | 406 |
| 送信済アイテムのみ表示 | 407 |
| 未送信アイテムのみ表示 | 408 |
| 削除したアイテムの表示/削除したアイテムを隠す | 357 |
| 表示のプロパティの変更 | 197 |
| アイコンを等間隔に整列 | 135 |
| 画像の表示 | 505 |
| インターネットヘッダの表示 | 368 |
| BCC 欄の表示/BCC 欄を隠す | 165 |
| 標準の表示 | 710 |
| 印刷レイアウト表示 | 711 |
| プレゼンテーション表示 | 712 |
| プレゼンテーションの開始 | 713 |
| 左に 90° 回転 | 813 |
| 右に 90° 回転 | 812 |
| 拡大する | 804 |
| 縮小する | 803 |
| 実際のサイズにする | 809 |
| ウィンドウのサイズに合わせる | 808 |

| | |
|-------------------------|-----|
| ウィンドウの幅に合わせる | 806 |
| ウィンドウの高さに合わせる | 807 |
| ウィンドウサイズの最適化 (Windows) | 11 |
| ウィンドウサイズを変更 (Macintosh) | 24 |
| ツールバーの表示/ツールバーを隠す | 650 |
| ステータスバーの表示/ステータスバーを隠す | 655 |
| 編集バーの表示/編集バーを隠す | 549 |
| ルーラの表示/ルーラを隠す | 548 |
| アイコン名の表示/アイコン名を隠す | 661 |
| ツールバーのカスタマイズ | 670 |
| ツールバーをデフォルトに戻す (管理) | 664 |
| ディレクトリの一覧 | 200 |
| システムプロファイル | 207 |
| ユーザの追加 | 202 |
| ゲートウェイの追加 | 234 |
| ユーザグループの追加 | 235 |
| 会議室グループの追加 | 236 |
| カレンダーグループの追加 | 238 |
| メールリストの追加 | 237 |
| 追加-ルートの追加 | 221 |
| リモート名の追加 | 222 |
| エイリアスをユーザに与える | 205 |
| 同報メッセージ | 208 |
| セッションモニタ | 212 |
| 監査 | 213 |
| 高速シャットダウン | 214 |
| 標準シャットダウン | 215 |
| サーバマシンの再起動 | 216 |
| すべてのユーザのログオフ | 217 |
| 選択したユーザのログオフ | 218 |
| サーバモデムのリセット | 220 |

| | |
|-------------------------|-----|
| ミラーリングの一時停止 | 223 |
| ミラーリングの再開 | 224 |
| (ヘルプ) | |
| 目次 | 252 |
| このウィンドウについて | 278 |
| FirstClass(R)クライアントについて | 10 |
| (表示のプロパティ) | |
| フィールド名を表示する | 604 |
| 行番号を表示する | 603 |
| 縦の罫線を表示する | 602 |
| 横の罫線を表示する | 601 |
| (接続状況の一覧) | |
| すべて切断 | 345 |
| 選択した接続を切断 | 341 |
| (ディレクトリ) | |
| このユーザが宛先のメールを作成 | 349 |
| ユーザのカレンダーを開く | 377 |
| ユーザの共有ドキュメントを開く | 379 |
| ユーザの変更 | 378 |
| (その他) | |
| ルール | 246 |
| すべてを前面に | 102 |

■ URL ボタン

作業時



完成時



URL ボタンは、インターネットや FirstClass で接続できるオブジェクトや宛先へのリンクです。

URL ボタンを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [ボタンとグループ] > [URL ボタン] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要に応じて、フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

名前

ボタン名です。

URL

リンク先の完全パスを入力します。

また、Web ページ、またはリンク先のアイコンがある FirstClass のオブジェクトを開いて、その Web ページのアドレスアイコンや FirstClass のリンク先のアイコンを、プレビュー表示したボタン上にドラッグすることもできます。FirstClass のリンク先を開いてドラッグすることはできません。

ヒント

Internet Explorer のアドレスアイコン



Return/Enter キー

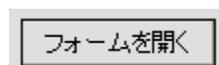
このボタンを、ユーザが [Enter] または [Return] キーを押したときのデフォルトの動作にします。これを有効にした場合、ボタンに枠線が表示されます。

アイコン ID

ボタンにアイコン画像を追加する場合の、アイコンのリソース ID です。ボタンに名前をアイコンの両方が含まれる場合、名前はアイコンの下に表示されます。

■ フォームボタン

作成時



完成時



ユーザが、クリックして他の FirstClass フォームを開くことができるボタンです。

フォームボタンを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [ボタンとグループ] > [フォームボタン] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. 必要におうじて、フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

名前

ボタン名です。

フォーム ID

このボタンで開かせたいフォームのフォーム ID です。

Return/Enter キー

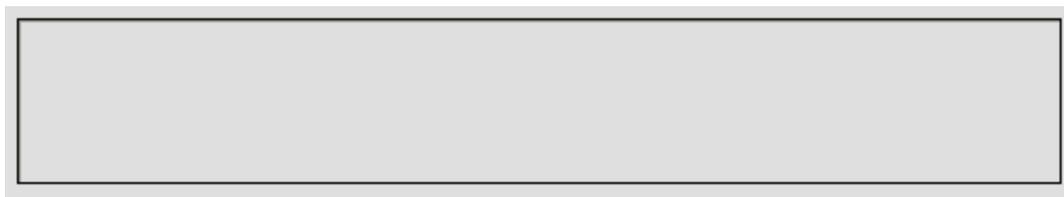
このボタンを、ユーザが [Enter] または [Return] キーを押したときのデフォルトの動作にします。これを有効にした場合、ボタンに枠線が表示されます。

アイコン ID

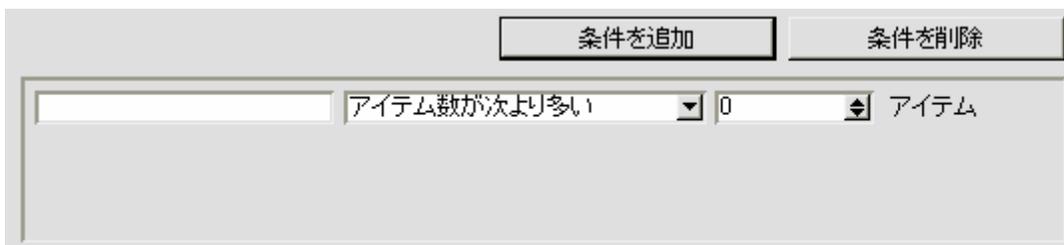
ボタンにアイコン画像を追加する場合の、アイコンのリソース ID です。ボタンに名前をアイコンの両方が含まれる場合、名前はアイコンの下に表示されます。

■ 複製グループ

作成時



完成時



複製グループは他のフォームの内容を並べて表示するものです。

フォームに追加する行の数がわからない場合に、複製グループを使用します。複製グループでは、フォームに行を 1 行追加するだけです。FirstClass RAD またはデータベース機能拡張によって、必要におうじて行を追加することができます。データベース機能拡張の詳細は、該当するヘルプを参照してください。FirstClass RAD の詳細は、FirstClass RAD のヘルプを参照してください。

複製グループを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [ボタンとグループ] > [複製グループ] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブで設定を行ってください。

フォームの ID

インポートするフォームの ID を入力してください。インポートするフォームの Type は「フォームテンプレート」でなければなりません。

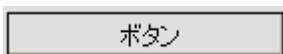
4. フィールドのサイズを調整してください。
フィールドの高さは、ユーザがスクロールせずに見られるようにさせたい行数に合わせてください。
5. ユーザに行の追加、削除をさせたい場合には、「複製ボタン」を追加してください。

💡 ヒント

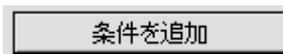
常に複数の行を表示させる必要がある場合は、行を追加する複製ボタンを作成し、メニューバーから [フォーム] > [入力済フォーム] を選択し、その複製ボタンをクリックして、その複製グループフォームに行を直接追加することができます。

■ 複製ボタン

作成時



完成時



複製ボタンによって、ユーザは複製グループ内に表示される行の追加や削除を行うことができます。

複製ボタンをフォームに追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [ボタンとグループ] > [複製ボタン] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。

3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要におうじて設定を行ってください。

名前

このボタンの名前です。

コマンド

「列の追加」を選ぶと、行を追加することができます。「列の挿入」では、選択した行の上に行を挿入することができます。また、「列の削除」では、選択した行を削除することができます。

関連させる重複グループの ID

このボタンを有効にする複製グループのフィールド ID です。

アイコン ID

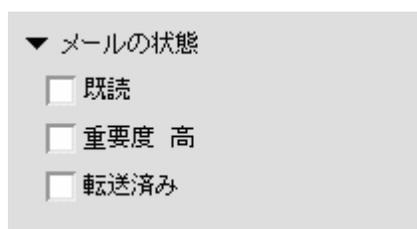
ボタンにアイコン画像を追加する場合の、アイコンのリソース ID です。ボタンに名前をアイコンの両方が含まれる場合、名前はアイコンの下に表示されます。

■ 折りたたみグループ

作成時



完成時



折りたたみグループは、複数のフィールドをまとめたグループで、ユーザの操作や FirstClass RAD、データベース機能拡張によって、グループ内のフィールドをツリー表示したり、折りたたんだりすることができます。データベース機能拡張の詳細は、該当するヘルプを参照してください。FirstClass RAD の詳細は、FirstClass RAD のヘルプを参照してください。

グループを折りたたむと表示されなくなり、そのグループの下にあるフィールドが上に移動します。

折りたたみグループを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [ボタンとグループ] > [折りたたみグループ] を選択してください。
2. このフィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

名前

このグループの名前です。

下にある全フィールドを移動

グループ内のフィールドを折りたたんだとき、このグループの下にあるすべてのフィールドを上に移動させます。このオプションが無効な場合は、このグループの下にあるフィールドのうち、幅がこのグループの幅より小さいフィールドだけが上に移動され、幅がこのグループより大きいフィールドは移動されません。

ユーザに折りたたみを許可

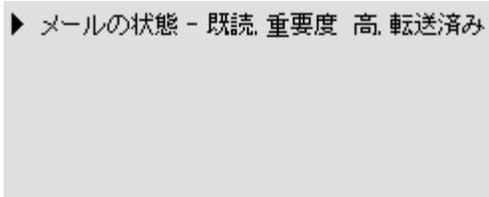
ユーザがグループを折りたたんだりツリー表示したりできるようにします。このオプションが有効な場合、グループ名の前に表示用の三角印が表示されます。このオプションが無効な場合は三角印が表示されず、FirstClass RAD がデータベース機能拡張によって、グループを操作しなければなりません。

初期状態で折りたたみ

フォームが最初に表示されたときに、フィールドが折りたたまれた状態にします。

4. 折りたたみ操作したいフィールドを、この折りたたみグループの中に作成してください。
グループが折りたたまれているときに、グループ内のフィールドのフィールドラベルをグループ名の横に表示させたい場合は、そのフィールドを作成するときに「折りたたみグループ名とともに表示」のオプションを有効にしてください。

表示例は次のとおりです。



▶ メールの状態 - 既読, 重要度 高, 転送済み

注意

チェックボックスのフィールドラベルは、そのチェックボックスが選択されている場合のみ表示されます。

■ マルチフィールドセレクト

作成時

完成時

マルチフィールドセレクトでは、複数のフィールドを組み合わせることで1つのフィールドで表示させることができます。ユーザは、表示させたいフィールドをドロップダウンリストから選択することができます。

ユーザは、この1つのフィールドを使用して、他の複数のフィールドの値を入力することができます。入力された値は、**FirstClass** によって選択されている各フィールドに保存されます。保存するのに、タブキーで他のフィールドへ移動したり、フォームを閉じたりする必要はありません。

💡 ヒント

ドロップダウンリストから同時に別々のフィールドを表示させたい場合は、同じ選択肢を持つマルチフィールドセレクトを複数作成してください。

マルチフィールドセレクトの構成は次のとおりです。

- ・ 選択したフィールドのフィールドラベルを表示するガイドテキスト部分。
- ・ フィールドの選択肢を表示するドロップダウンボタン。
- ・ 関連付ける編集可能テキストフィールド。このフィールドは、マルチフィールドセレクトで選択したフィールドのフィールド ID に対応づけられます。

つまり、セレクトで選択したフィールド ID のフィールドの値を、このフィールドに入力することができます。

マルチフィールドを追加する方法

- ・ メニューバーの [フィールド] > [ボタンとグループ] > [マルチフィールドセレクト] を選択します。
- ・ フォームにフィールドを追加してください。

このフィールドは、関連付ける編集可能テキストフィールドにとって標準的なフィールドラベル位置（左または上）に配置してください。

- ・ フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

フィールドラベル

選択肢に含めたいフィールドのフィールドラベルと、そのフィールド ID です。このうちの1つは、**FirstClass** デザイナーで保存済みの、関連付ける編集可能テキストフィールドのフィールド ID にしなければなりません。この値は次のように入力し、フィールドごとにセミコロンで区切ってください。

フィールドラベル= フィールド ID

例えば、個人の電話 (ID 1020) と仕事の電話 (ID 1030) の各フィールドを選択肢とし

て追加するには、次のように記述します。

個人の電話=1020;仕事の電話=1030

関連付けるフィールド ID

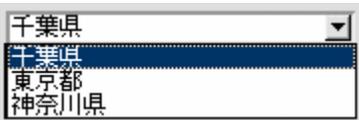
FirstClass デザイナーで保存済みの、関連付ける編集可能テキストフィールドのフィールド ID です。

■ 選択リスト（入力不可、入力可）

作成時



完成時



選択リストは、ユーザがドロップダウンリストから選択肢を選びます。選択リストには、入力不可と入力可の 2 種類のリストがあります。

選択リスト（入力不可）では、

- ・ ユーザにリストから選択させます。
- ・ サーバに数値を返します。

選択リスト（入力可）では、

- ・ ユーザにリストから選択させるか、フィールドに任意の値を入力させます。
- ・ サーバに文字値を返します。

選択リスト（入力不可）を追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [リスト] > [選択リスト（入力不可）] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要におうじて設定を行ってください。

初期表示

リストに表示するデフォルトの選択肢です。[リスト] で定義した数値を入力します。

リストで何かが選択されるまで空白にしたい場合は、[リスト] に空白を登録して、その数値を指定してください。

ドロップダウンアイコン ID

ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選べると、デフォルトの矢印アイコンになります。

リスト

リストに表示する選択肢を ; (セミコロン) で区切ります。デフォルトでは、最初の選択肢が 0、2 番目が 1 … というように順番に数値が割り当てられます。必要におうじて、特定の数値を割り当てることもできます。この場合、選択肢を次の書式で入力し、各選択肢をセミコロンで区切ってください。

テキスト=数値 (半角)

例えば、「神奈川県」という選択肢に「92」を割り当てるには次のように入力します。

神奈川県=92

これは、追加の選択肢が挿入されることがある場合に有効です。選択肢に特定の番号を割り当ててその番号を変更しなければ、変更前のフォームでユーザが選んだ選択肢が確実に保持されます。

4. このフィールドから他のフィールドを制御したい場合は、フィールド属性の [内容] タブにある [フィールドコントロール] タブを設定します。

詳細は、「フィールドコントロール」の項を参照してください。

選択リスト (入力可) を追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [リスト] > [選択リスト (入力可)] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要におうじて設定を行ってください。

初期表示

リストに表示するデフォルトの選択肢です。 [

リスト

リストに表示する選択肢を ; (セミコロン) で区切ります。

ドロップダウンアイコン ID

ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選べると、デフォルトの矢印アイコンになります。

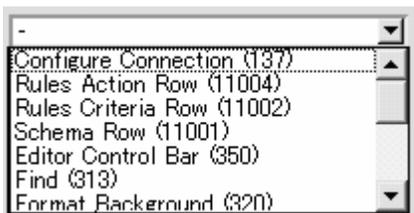
リストからのみ選択

ユーザにリストからのみ選択させるようにします。これは、「選択リスト(入力不可)」のようにユーザに任意の値を入力させず、かつサーバに文字値を返したい場合に有効です。

■ フォームリスト

作業時

完成時



フォームリストは、設定ファイル、アプリケーション（通常は **FirstClass**）、またはその両方で利用可能なフォームの一覧を表示します。

フォームリストを追加する方法

1. メニューバーの [フィールド] > [リスト] > [フォームリスト] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要におうじて設定を行ってください。

フォームの元

「アプリケーションのフォーム」では、アプリケーションのフォームをすべて一覧表示します。「設定ファイルのフォーム」では、設定ファイル内のフォームをすべて一覧表示します。

フォーム Type

一覧表示するフォームの Type です。

ドロップダウンアイコン ID

ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選択すると、デフォルトの矢印アイコンになります。

■ 日付セレクタ

作成時



完成時



日付セレクトは、ユーザにポップアップのカレンダーから日付を選択させます。

このフィールドに日付と時刻が表示されている場合、オンラインヘルプにあるように、ユーザはカーソルをドラッグして日付と時刻を変更することもできます。

日付セレクトを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [セレクト] > [日付セレクト] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要におうじて設定を行ってください。

日付の表示方法

ユーザが選択した日付をこのフィールドで表示する書式です。

「ショート」では、「2004/01/31」のように表示されます。「ロング」では、Windows では「2004年1月31日」、Macintosh では「2004年1月31日水曜日」のように表示されます。「省略」では、Windows では「ショート」と同様の表示に、Macintosh では「2004年1月31日(水)」のように表示されます。

ドロップダウンアイコン ID

ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選ぶと、デフォルトの矢印アイコンになります。

時刻を含む

ユーザが時刻を選択または入力できるフィールドをポップアップカレンダーに表示します。

[なし] ボタンの追加

ポップアップカレンダーに [なし] ボタンを表示します。ユーザは何も指定しないでポップアップカレンダーを閉じることができます。

リスト

テキストにマッピングさせたい値です。通常、ここには何も設定する必要はありません。このフィールドは、ある特定の日付がポップアップカレンダーで選択されたときに、日付の代わりにテキストを表示させる場合にだけ使用します。「時刻を含む」が有効になっている場合は利用できません。

選択肢を次の書式で入力し、;(セミコロン) で区切ります。

テキスト=値

例えば、ユーザが1月1日を選択したら「元日」と表示させることができます。入力する値を正しく算出するには、1904年1月1日から該当する年の1月1日午前0時までの秒数を計算する必要があります。計算ができれば、次のように入力します。

元日=計算した秒数

0から86399までが1904年1月1日を表し、86400から172799までが1904年1月2日を表します。1日増えるごとに86400(秒)を追加していきます。

また、「日付を選んでください」のような指示を最初に表示させることもできます。それには、次のように入力してください。

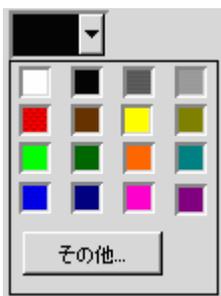
日付を選んでください=0

■ フォントセクタ、カラーセクタ

フォントセクタ



カラーセクタ



フォントセクタ、カラーセクタは、ユーザにダイアログボックスから色またはフォントを選択させます。

フォントセクタまたはカラーセクタをフォームに追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [セクタ] を選び、[フォントセクタ] または [カ

- ラーセレクトア] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
 3. 必要に応じて、フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

属性 | サイズ/色 | 内容 | 移動 | ヘルプ |

色選択リストのID: 標準

ドロップダウンアイコンID: 標準

RGB値: (RRGGBB) 000000

色選択リストの ID (カラーセレクトアのみ)

色選択リストをリソース ID で選択できます。「標準」では ID 153 の [Color Chooser] フォームの色選択リストとなります。

ドロップダウンアイコン ID

ドロップダウンリストのアイコンをアイコンのリソース ID で選択できます。「標準」を選ぶと、デフォルトの矢印アイコンになります。

RGB 値 : (RRGGBB) (カラーセレクトアのみ)

セレクトアにデフォルトで表示される色を、RRGGBB の形式で設定します。

■ ファイルセレクトア

作業時

完成時

ファイルセレクトアのボタンをクリックすると、ユーザが利用している OS の標準的なファイル選択ウィンドウが表示されます。

ファイルセレクトアを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [セレクトア] > [ファイルセレクトア] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールドの横幅を、ファイルのパス名とファイル名が完全に収まる長さにするをお奨めします。

■ 進行状況バー



進行状況バーはデータベース機能拡張で使用され、処理の進行状況を表します。例えば、ファイルのダウンロードやアップロード中に表示されるウィンドウで、進行状況バーを表示しています。データベース機能拡張については、「**FirstClass** への機能の追加」の章を参照してください。

進行状況バーを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [拡張] > [進行状況バー] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要に応じて設定を行ってください。

初期値

進行状況バーの初期値で、パーセントで指定します。**FirstClass** はこのパーセント値にしたがってバーを設定します。通常はデフォルトの **0** にします。

最小値

進行状況バーで表示できるようにする最小パーセント値です。通常はデフォルトの **0** にします。

最大値

進行状況バーで表示できるようにする最大パーセント値です。通常はデフォルトの **100** にします。

■ 拡張リスト



拡張リストは、**FirstClass** メッセージの [宛先] フィールドや [添付ファイル] フィールドと同じように、フィールドが広がって複数の入力を受け付けます。

拡張リストはデータベース機能拡張で使用され、データベース機能拡張は自動的に拡張リストが追加されます。データベース機能拡張については、「**FirstClass** への機能の追加」の章を参照

してください。

拡張リストを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [拡張] > [拡張リスト] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
3. フィールド属性フォームの次のフィールドを、必要におうじて設定してください。

重なり可（[属性] タブ）

拡張リストフィールドが広がっても、その下にあるフィールドが下に移動しないようにします。これを有効にすると、拡張フィールドがその下にあるフィールドに重なる可能性があることにご注意ください。

サブフィールド Type（[内容] タブ）

このリストに登録できる項目の種類です。デフォルトでは「テキスト」になっており、ほとんどの場合これで対応できます。

「列挙データリスト」を選択すると、データベース機能拡張が登録する選択肢を指定することができます。これを選択すると、[列挙データリスト]フィールドが表示されますので、リストに表示する選択肢を入力して；(セミコロン) で区切ります。最初の選択肢が0、2番目が1…というように順番に数値が割り当てられます。必要におうじて、特定の数値を割り当てることもできます。この場合、選択肢を次の書式で入力し、各選択肢をセミコロンで区切ってください。

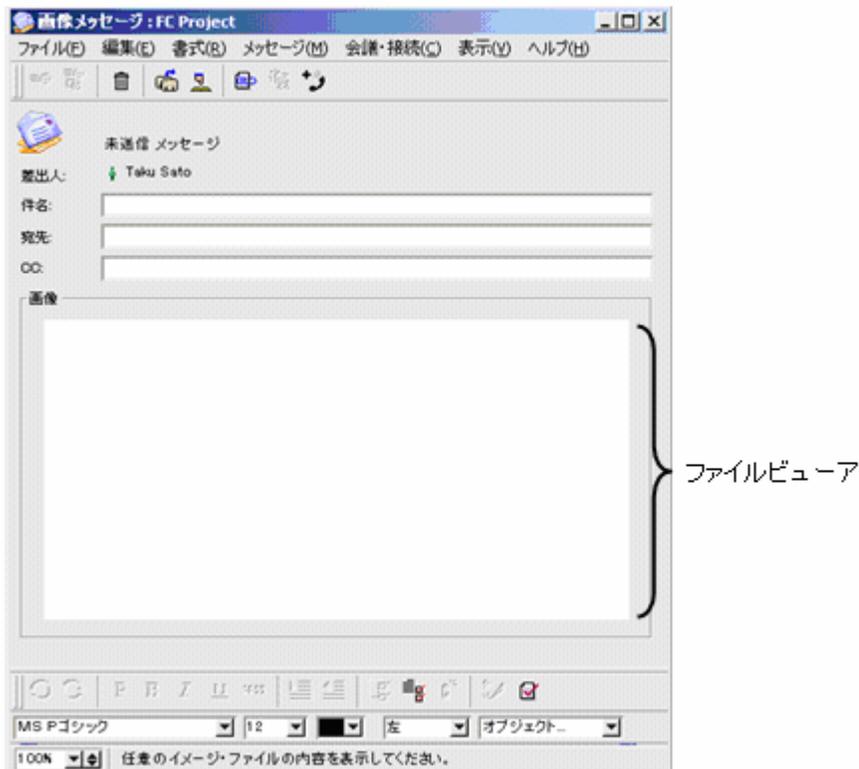
テキスト= 数値 (半角)

例えば、「神奈川県」という選択肢に「92」を割り当てるには次のように入力します。

神奈川県=92

これは、追加の選択肢が挿入されることがある場合に有効です。選択肢に特定の番号を割り当ててその番号を変更しなければ、変更前のフォームでユーザが選んだ選択肢が確実に保持されます。

■ ファイルビューア



ファイルビューアは、クライアント機能拡張で使用し、jpg、bmp、その他クライアント機能拡張が対応している形式の画像ファイルを表示することができます。ユーザにも適切なクライアント機能拡張があれば、ほとんどすべての形式のファイルをファイルビューアで利用できます。クライアント機能拡張については、「FirstClass への機能の追加」の章を参照してください。

ファイルビューアを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [拡張] > [ファイルビューア] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。

■ 固定リスト

固定リストは、フィールドが一定の大きさのまま、複数の入力を受け付けます。フィールド内に表示される入力項目が増えた場合には、スクロールバーが表示されます。

固定リストは、データベース機能拡張で使用されます。データベース機能拡張は、自動的に固定リストを追加するか、ユーザがリスト上から選んだ選択肢を受け付けます。データベース機能拡張については、「FirstClass への機能の追加」の章を参照してください。

固定リストを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [拡張] > [固定リスト] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。

3. フィールド属性の [内容] タブを開き、設定を行ってください。

サブフィールド Type

このリストに登録できる項目の種類です。デフォルトでは「テキスト」になっており、ほとんどの場合これで対応できます。このフィールドの詳細は、「拡張リスト」の項を参照してください。

高さ

入力行の高さで、ピクセル単位で指定します。

■ タブコントロール

タブコントロールでは、次のようなタブ付きフォームを作成することができます。



タブコントロールを追加する方法

1. メニューバーから [フィールド] > [タブコントロール] > [タブコントロールの追加] を選択してください。
2. フィールドをフォームに追加してください。
デフォルトでは、タブが1つ追加されます。
3. フィールド属性の [内容] タブを開き、必要におうじて設定を行ってください。

タブ ID

タブの ID です。特定のタブにコードをマップするのに利用できます。タブ ID を特定する場合は、1000 以上の値にしてください。

タブ名

タブの名前です。

アイコン ID

アイコンのリソース ID です。タブ名の左側にアイコンを表示したい場合に設定してください。

タブフォーカスをサーバに送信

データベース機能拡張で使用し、フォーカスされているタブを機能拡張に伝えます。データベース機能拡張については、「FirstClass への機能の追加」の章を参照してください。

4. 必要におうじて、タブを追加してください。

タブの操作

タブを選択してその内容を見るには、タブをクリックします。

タブコントロールでタブを操作するには、メニューバーから [フィールド] > [タブコントロール] を選択して、次のいずれかの操作を行います。

- ・ タブの追加
一番右側にタブを追加します。
- ・ タブの挿入
選択されているタブのすぐ左側にタブを追加します。
- ・ タブの削除
選択されているタブを削除します。
- ・ タブを左に移動
選択されているタブを1つ左に移動します。
- ・ タブを右に移動
選択されているタブを1つ右に移動します。

ステーションナリの作成

FirstClass のステーションナリ機能を利用すると、宛先が入力されたメッセージフォームなど、あらかじめ一部が入力された状態のフォームを作成することができます。ユーザは、ステーションナリパッドを利用して、そのフォームを取り出します。ステーションナリパッドは、管理者デスクトップのメニューバーで [管理] > [新規ステーションナリ] を選んで作成します。ユーザがステーションナリパッドをダブルクリックすると、そのパッドの複製が作成されます。ユーザがオリジナルのフォームを開くことはありません。

ステーションナリを作成するためには、まずステーションナリフォームを作成し、次にステーションナリパッドを作成してユーザが利用できるようにします。

また、ステーションナリはデータベース機能拡張でも利用できます。データベース機能拡張については、「FirstClass への機能の追加」の章を参照してください

■ ステーションナリフォームの作成

作成できるフォームは、管理者用デスクトップのメニューバーの [管理] > [新規テンプレート] に表示される「ステーションナリフォームフォーム」か、「共用フォーム」のどちらかです。

「共用フォーム」は、ステーションナリフォームとしても通常のフォームとしても利用できるフォームです。通常のフォームとは、FirstClass クライアントのメニューバーの [メッセージ] > [特別な新規メッセージ] か [ファイル] > [新規作成] > [特別な新規ドキュメント] に表示されるメッセージフォームまたはドキュメントフォームのことです。エイリアスは、オリジナルのフォームへのポイントです。エイリアスを使用することで、設定ファイル内にフォームのコピーを2つ保存する必要がなくなります。また、オリジナルフォームに加えた変更はすべて、エイリアスにも反映されます。

ステーションナリフォームを作成するには、

1. FirstClass デザイナーでローカルフォームを作成します。
作成したフォームを閉じると、フォーム属性の設定フォームが表示されます。
2. 必要におうじて、次のフィールドを設定してください。

Type

ステーションナリフォームであれば「フォームステーションナリ」を、共用フォームであれば、「ユーザフォーム」を選択してください。

名前

FirstClass クライアントのメニューに表示させたいこのフォームの名前です。

タイトルバー

フォーム最上部のタイトルバーに表示されたい名前です。

種類

メッセージフォームであれば「ローカルフォーム」を、ドキュメントフォームであれば「ドキュメントフォーム」を選択してください。

ID

このフォームの一意の識別子です。メッセージフォームであれば **1000-1999** の範囲から、ドキュメントフォームであれば **2000-2999** の範囲から ID を割り当ててください。[固有 ID] をクリックすると、固有の ID が自動的に割り当てられます。

他の項目は必要に応じて設定して下さい。詳細は、「フォーム属性の設定」の項を参照してください。

3. このフォームを共用フォームにする場合は、フォームを選択してメニューバーから [フォーム] > [エイリアスの作成] を選んでください。

エイリアスがリソース一覧に追加されます。このエイリアスはオリジナルと同じ名前ですが、斜体で表示されます。

■ ステーションナリパッドの作成

ステーションナリフォームを作成したら、ステーションナリパッドを作成してユーザがフォームを利用できるようにしなければなりません。ステーションナリパッドを作成するには、

1. さきほど作成したフォームが保存された設定ファイルを使用して、管理者として **FirstClass** にログインしてください。
2. ステーションナリパッドを作成したい会議室かフォルダを開いてください。
ステーションナリパッドは、ユーザがアクセス可能な場所に置かなければなりません。
3. メニューバーの [管理] > [新規ステーションナリ] から、さきほど作成したフォームを選択してください。
4. あらかじめ入力しておきたいフィールドに、その内容を入力してください。
5. ステーションナリパッドを選択して、メニューバーの [ファイル] > [プロパティ] (Windows) または [情報を見る] (Macintosh) を選んでください。
6. ステーションナリパッドの名前を設定し、必要であればアイコンを変更してください。
7. 「保護」を有効にして、あらかじめ入力した内容を保護してください。

注意

保護されていないステーションナリパッドを未保護のアイテムの編集権限を持つユーザが開くと、ステーションナリパッドのコピーが自動作成されずに、オリジナルのフォームが開かれてしまいます。この場合、ユーザがオリジナルのフォームを変更できてしまいます。

FirstClass への機能の追加

特別なフォームを作成することで、**FirstClass** の機能を次のように拡張することができます。

- ・ 外部データベースとの交信する。

- ・ さまざまなフォーマットの画像を開く。
- ・ **FirstClass** クライアントのツールバー用にカスタマイズしたボタンをユーザが利用する。

また、**FirstClass RAD** を利用すると、簡単な **BASIC** コードで **FirstClass** クライアントにさまざまな機能を追加することができます。**FirstClass RAD** については **FirstClass RAD** のヘルプを参照してください。

■ 機能拡張

FirstClass デザイナーには機能拡張のためのツールキットがあり、サーバ（データベース）およびクライアントの機能拡張や、他のメッセージシステムへのゲートウェイを構築したりすることができます。このツールキットに関しましては、弊社までお問い合わせください。

データベース機能拡張

データベース機能拡張によって、サーバに機能を追加することができます。データベース機能拡張を利用すると、**FirstClass** を介してデータの送受信ができるようになります。通常、データベース機能拡張はサードパーティ製のデータベースへのアクセスに利用されます。例えば、**FirstClass** のフォームで検索文字を入力して、対象のデータベースから検索結果を得ることができるようになります。

データベース機能拡張をサーバに追加するには、次のファイルを作成しなければなりません。

- ・ **FirstClass** データベースツールキットでビルドされたデータベース機能拡張コードファイル。
- ・ データベース拡張機能で使用できるカスタマイズフォームを含む設定ファイル。

ほとんどのデータベース拡張機能は主フォームから呼び出されます。主フォームはステーションナリとして作成され、データベース拡張機能に関連付けられています。フォームの設計にしたがって、この主フォームですべての機能が実行されるか、必要におうじて追加フォームが開かれます。

💡 ヒント

- 作成するメインフォームのフォーム属性で、**Type** を「フォームステーションナリ」に、種類を「データベースクエリ」にしてください。
- このフォームをデータベース機能拡張に関連付けるには、宛先フィールド（フィールド ID 9）を使用してください。
- コマンドボタンのコマンドは、すべて **0** にしてください。
- あるタブがフォーカスされていることをデータベースに伝えるためには、そのタブコントロールのフィールド属性で、[内容] タブの「タブフォーカスをサーバに送信」にチェックを入れてください。
- データベース機能拡張で折りたたみグループを折りたたんだりツール表示したりするには、**Set long** を呼び出してください。0 は折りたたみ、1 はツール表示を表します。

💡 追加フォーム作成のヒント

- 作成する追加フォームのフォーム属性で、**Type** を「フォームテンプレート」に、種類

を「データベースヒットリスト」にしてください。

クライアント機能拡張

クライアント機能拡張により、**FirstClass** クライアントに機能が追加されます。クライアント機能拡張を利用すると、特別のファイルビューアや、リアルタイムインタラクティブアプリケーションを構築することができます。

クライアント機能拡張を作成するためには、**FirstClass** クライアント機能拡張ツールキットをご利用ください。

■ ツールバーフォーム

カスタマイズされたボタンを含むフォームを作成して、ユーザに利用してもらうことができます。手順は以下のとおりです。

1. メニューバーで [フォーム] > [新規フォーム] > [ツールバー] を選択してください。
2. フォームにコマンドボタンを追加してください。
3. このフォームのフォーム属性で、リソース ID を **11100-11199** の間で割り当ててください。

このフォームは、ユーザが **FirstClass** クライアントで [ツールバーのカスタマイズ] を開くと、種類として表示されます。種類の名前は、このフォームのタイトルバーに指定した名前になります。

💡 ヒント

- ツールバーにコマンドボタンを追加すると、ボタンに対応したアイコンが自動的に設定されます。このため、ツールバーフォームにコマンドボタンを追加する際に、アイコンのリソース ID を割り当てる必要はありません。
- カスタマイズしたアイコンをツールバーフォーム上に追加されるコマンドボタンとして取り込む場合は、そのアイコンのリソース ID として、適切なコマンド No. に **11000** を加えた数を割り当ててください。例えば、カスタマイズされた印刷ボタンのアイコンは、印刷のコマンド No. が **9** なので、リソース ID は **11009** となります。

Web のためのカスタマイズ

この章は、FirstClass インターネットサービスをご利用の場合のみ適用されます。また、HTML コーディングの知識があることを前提とし、概略のみを説明します。詳しい情報は Web テンプレートに関する FirstClass のヘルプをご覧ください。

FirstClass では、ユーザが Web ブラウザで FirstClass サーバにログインした場合の Web ページのデザインを決め、カスタマイズしたフォームを Web ページに正しく生成することができます。

注意

FirstClass インターネットサービスでは、カスタマイズされたフォームとアイコンは生成しますが、サウンドと背景画像は自動的に生成できません。直接 HTML コードを編集して、サウンドと背景画像が生成されるようにしてください。

FirstClass インターネットサービスでは、管理者デスクトップの該当する Web サイトの [.Templates] フォルダ内にある Web テンプレートが、Web ページの生成に使われています。これらのテンプレートの名前は、デフォルトのフォームのフォーム ID と一致しています。

ヒント

HTML コーディングの例を見るには、[.Templates] フォルダ内のテンプレートを参照してください。また、作成したフォームを FirstClass デザイナーで HTML ファイルとして保存することもできます。このファイルのソースをテキストエディタなどで開いて、HTML コードの使い方を参照することができます。

■ カスタマイズしたデフォルトのフォームを Web ページとして生成

デフォルトのフォームをカスタマイズしたら、Web で利用するユーザのためにそのフォームの HTML テンプレートもカスタマイズしなければなりません。そのためには、HTML テンプレートの HTML コードを直接編集してください。

■ 作成したフォームを Web ページとして生成

新しいフォームを作成した場合、Web で利用するユーザのために、そのフォームの HTML テンプレートも作成する必要があります。

ヒント

この作業の前に、Web ブラウザで開いたときのプレビューを FirstClass デザイナー上で確認することができます。フォームを開いた状態で、メニューバーから [フォーム] > [ブラウザで表示] を選択してください。

作成したフォームには、プレビュー表示で見られるような特殊な Web タグが含まれていますが、これは正常な状態であり、FirstClass インターネットサービスがフォームなどの内容を Web ページ化するために必要なものです。

手順は以下のとおりです。

1. FirstClass でフォームを開いてください。
2. メニューバーから [ファイル] > [HTML 保存] を選択してください。フォーム ID と同じ名前で、HTML テンプレートが保存されます。この名前は変更しないでください。

このテンプレートの HTML コードは、カスタマイズ作業の出発点とお考えください。カスタマイズしたデフォルトのフォームの場合と同様、このテンプレートの HTML コードを手動で編集必要があります。ただし、FirstClass デザイナーが生成した Web タグは削除しないでください。

注意

FirstClass デザイナーでは、すべてのタイプのフィールドを HTML 化することはできません。

3. HTML コードの編集が完了したら、そのテンプレートを、管理者デスクトップの該当する Web サイトの [.Templates] フォルダにアップロードしてください。

■ フォームを「新規作成ドロップダウンリスト」に追加

標準のテンプレートにある「作成」フィールドに、新しく作成したフォームを追加したり、デフォルトの項目を完全に置き換えたりすることができます。「作成」フィールドの項目は、メッセージとドキュメントで別々に指定され、それぞれにコマンドが割り当てられています。つまり、例えばメッセージフォーム用の項目には追加や変更を加え、ドキュメントフォーム用の項目はそのままにしておくというような設定が可能です。

新規作成ドロップダウンリストにフォームを追加する方法

1. FirstClass 管理者デスクトップの [FC Resource Registry] にある「Japaneses Resource」設定ファイルをダウンロードし、作成したフォームを追加します。
2. 管理者デスクトップの [Internet Services] フォルダにある「HeaderMatch」ドキュメントを更新します。

メッセージフォームを「新規作成ドロップダウンリスト」に設定するには、CUSTOMMESSAGES コマンドを使用し、その後にメッセージフォームの ID を記述して；(セミコロン) で各 ID を区切ります。メッセージフォームが、ここに記述した順番でドロップダウンリスト内に表示されます。このコマンドは、フィールド内にすでにあるデフォルトのメッセージフォームに優先しますので、ここで設定したメッセージフォームのみがメニューに表示されます。

ドキュメントフォームを「新規作成ドロップダウンリスト」に設定するには、CUSTOMFORMS コマンドを使用し、その後にドキュメントフォームの ID を記述して；(セミコロン) で各 ID を区切ります。ドキュメントフォームが、ここに記述した順番でドロップダウンリスト内のメッセージフォームの下に表示されます。このコマンドは、フィールド内にすでにあるデフォルトのドキュメントフォームに優先しますので、ここで指定したドキュメントフォームのみがメニューに表示されます。

ヒント

デフォルトのフォームのフォーム ID を調べるには、FirstClass クライアントでそのフォ

ームを開き、メニューバーから [ヘルプ] > [このウィンドウについて] を選択します。開いたヘルプウィンドウのタイトルバーの左側に表示されている数字がフォーム ID です (例えば、標準のメッセージフォームの ID は 141 です)。

ID を1つも指定しなかった場合には、デフォルトのフォームが表示されます。

注意

このコマンドを利用して、ドロップダウンリストに表示されるフォームの順番を変更することができます。ただし、メッセージフォームは、常にドキュメントフォームより上に表示されます。

複数のテンプレートをカスタマイズしたときに表示される順番など、HeaderMatch ドキュメントと VAR コマンドの詳細は、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

例

次の例では、「新規作成ドロップダウンリスト」に3つの標準メッセージフォーム (141、128、131) とカスタマイズしたメッセージフォーム (1050) が表示され、その下に2つの標準ドキュメントフォーム (96、900) とカスタマイズしたドキュメントフォーム (2060) が表示されます。

*: VAR CUSTOMMESSAGES=141;128;131;1050

*: VAR CUSTOMFORMS=96;900;2060

トラブルシューティング

ここでは、リソースを作成してユーザに配布する際に起こりがちな問題について説明します。

- ・ **画像が Macintosh では正しく表示されるが、Windows では正しく表示されない**
このエラーは、PICT ファイルにベクタ情報が含まれている場合に起こります。画像アプリケーションを使用して、この画像をビットマップ形式で保存してください。
- ・ **設定ファイルに保存した画像がすべて表示されない**
FirstClass が動作するためのメモリを増やしてください。
- ・ **Windows 版の FirstClass デザイナーで作成した設定ファイルが、Macintosh 版で開けない**
Windows で作成した設定ファイルを開くには、Macintosh 側で次の操作を行ってください。
 - (1) FirstClass デザイナーを起動します。
 - (2) メニューバーの [ファイル] > [開く] を選択します。
 - (3) 設定ファイルを選びます。
 - (4) 変換を求めるメッセージが表示されたら、変換してください。

- ・ **Macintosh で表示できるフォントスタイルの一部が Windows では表示されない**
Windows では、中抜き、影文字、圧縮、拡張の各スタイルはサポートされていません。
- ・ **自分でカスタマイズしたリソースが Web 上で表示されない**
カスタマイズしたリソースがアイコンの場合、インターネットサービスが使用する icons.fc 設定ファイルにそのアイコンをインポートしなければなりません。この設定ファイルは新しいファイルに置き換えず、既存の設定ファイルを更新してください。置き換えてしまうと、FirstClass のデフォルトのアイコンが失われてしまいます。
カスタマイズしたリソースがフォームの場合、「Web のためのカスタマイズ」の章で説明しているように、そのフォームの HTML テンプレートを別途作成しなければなりません。
カスタマイズしたリソースがサウンドか背景画像の場合は、HTML コードを記述しなければなりません。
- ・ **以前の設定ファイルにあるボタンの一部が動作しない**
FirstClass のコマンド No. は一部変更されています。コマンド No. の一覧は、「コマンドボタン」の項にある一覧をご覧ください。